

平成30年度第3回
袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議次第

日時 平成31年1月29日（火）
午前10時から
場所 市役所旧館3階大会議室

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 題

（1）子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果速報について

【資料1、資料1参考①、②】

（2）放課後児童クラブの整備状況について

【資料2、資料2参考】

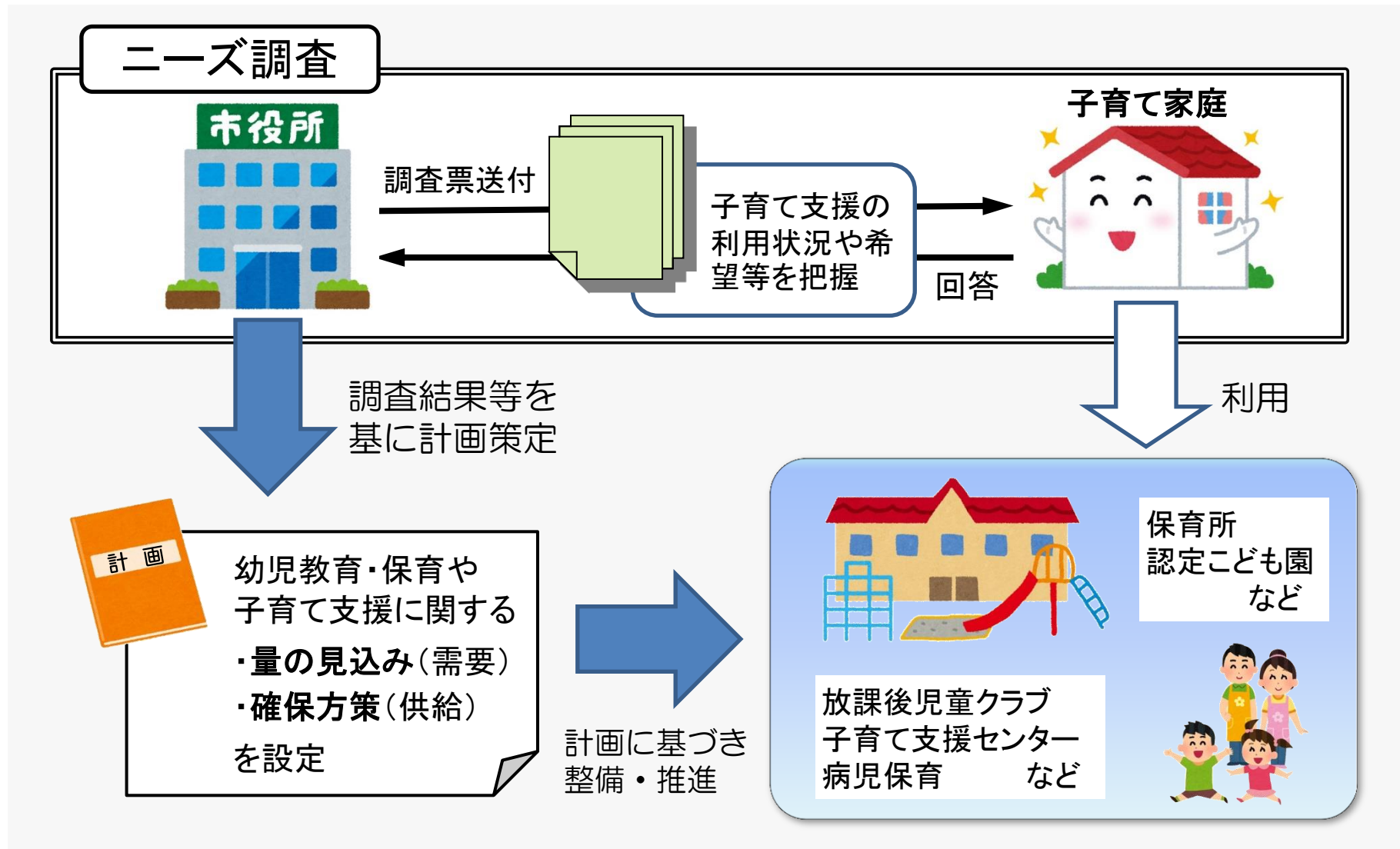
（3）その他

4 閉 会

3 議 題

(1) 子ども・子育て支援に関する 二一ズ調査の結果速報について

○ニーズ調査 ～ 計画策定 ～ 施設整備・事業実施までの流れ



ニーズ調査

調査結果をもとに利用意向率、家庭類型等を把握、推計



人口推計

計画期間中の対象児童数等を推計



「量の見込み」

「家庭類型別児童数」×「利用意向率」＝「量の見込み」

袖ヶ浦市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 調査結果＜速報＞

I 調査の概要

○調査対象

袖ヶ浦市在住の就学前児童・小学生の保護者を対象として2,000件を無作為抽出

○調査期間

平成30年10月31日から平成30年11月20日

○調査方法

郵送による配布・回収

○回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,000通	610通	61.0%
小学生保護者	1,000通	531通	53.1%

Ⅱ 調査結果

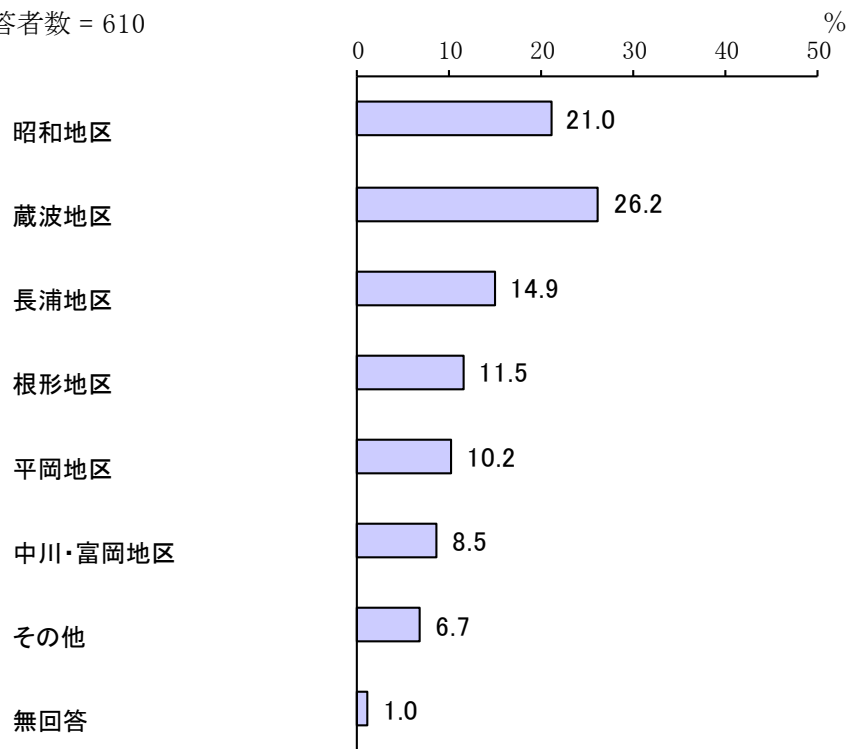
1 就学前児童保護者

(1) お子さんご家族の状況

問1 お住まいの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

「蔵波地区」の割合が26.2%と最も高く、次いで「昭和地区」の割合が21.0%、「長浦地区」の割合が14.9%となっています。

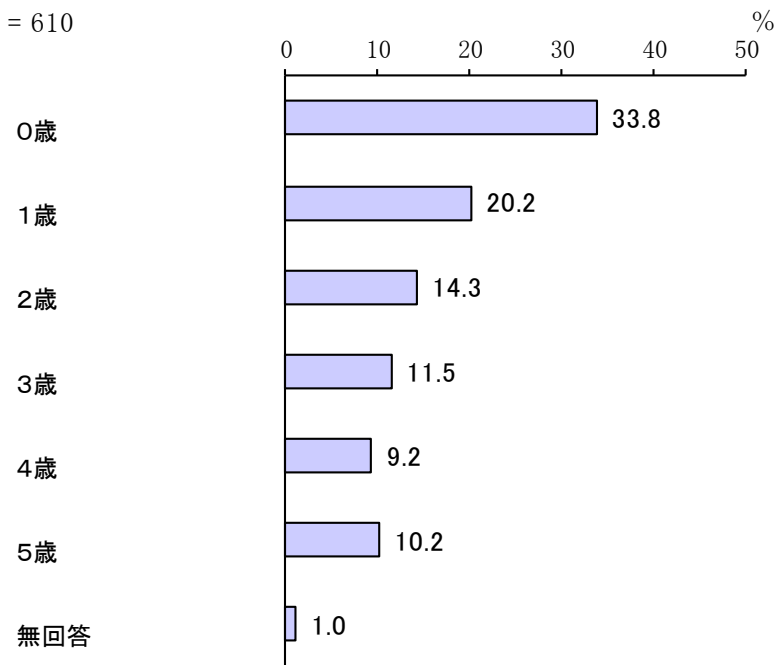
回答者数 = 610



問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください)

「0歳」の割合が33.8%と最も高く、次いで「1歳」の割合が0.2%、「2歳」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 610



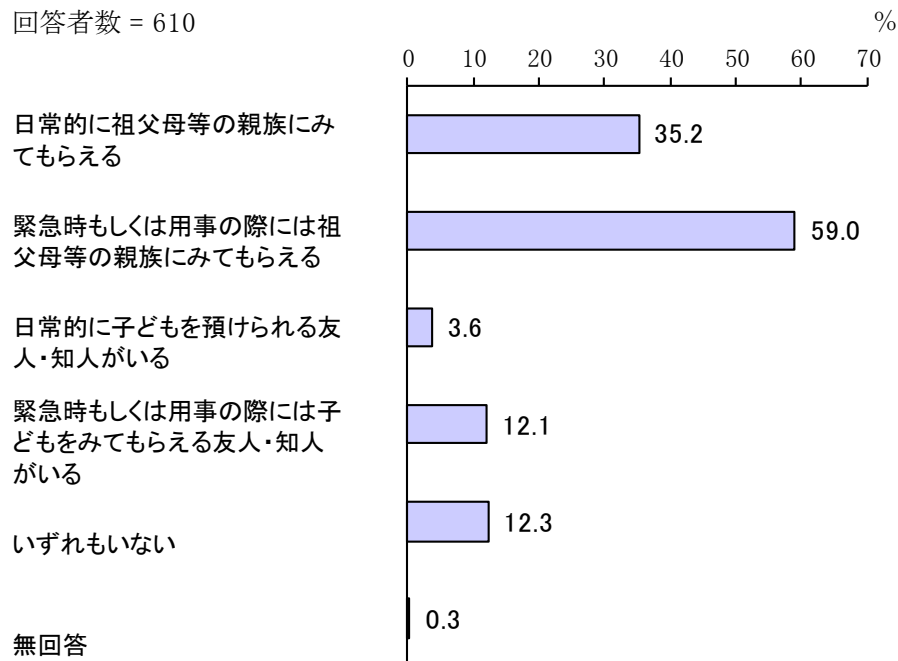
(2) 育ちをめぐる環境

◇「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が35%。

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が59.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が35.2%、「いずれもない」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 610



(3) 保護者の就労状況

◇就労している母親の割合が65%。

◇就労していない母親も7割が今後の就労を希望。

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

【父親】 (当てはまる番号1つに○)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が97.9%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が0.9%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が0.3%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が0.0%、「これまで就労したことがない」の割合が0.3%となっています。

回答者数 = 582

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

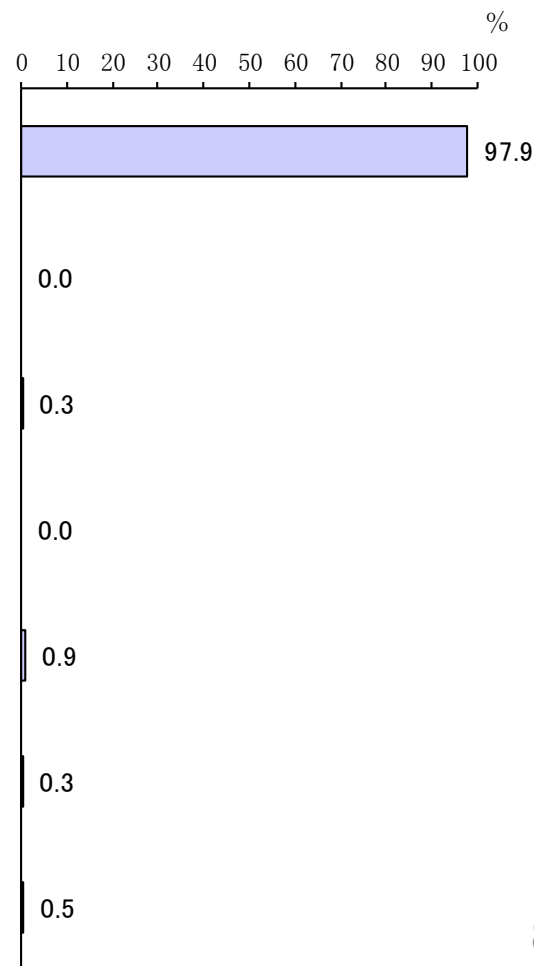
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



【母親】（当てはまる番号1つに○）

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が32.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が26.6%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が23.5%となっています。

回答者数 = 608

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

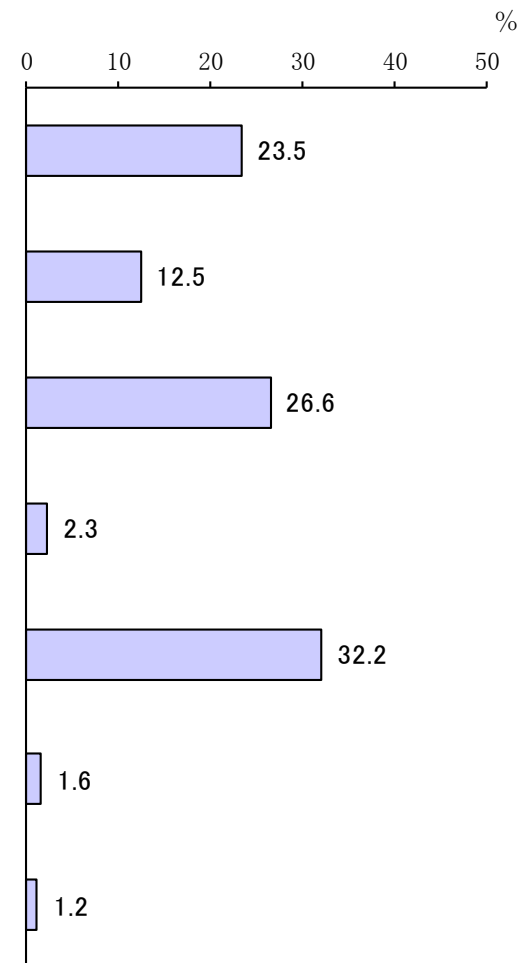
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

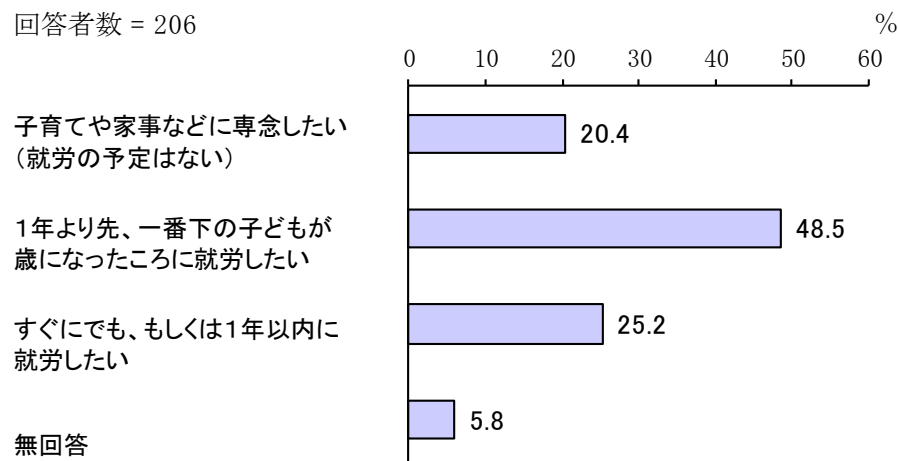


問13 問11で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)

【母親】

「1年より先、一番下の子どもが歳になったところに就労したい」の割合が48.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が25.2%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が20.4%となっています。

回答者数 = 206



(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

◇「定期的な教育・保育事業」を利用している割合が5割。

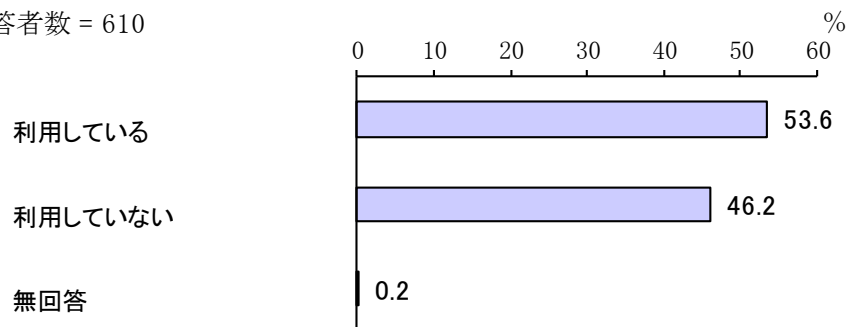
◇利用している事業は、「認可保育所（園）」の割合が6割。

◇今後利用したい事業は、「認可保育所（園）」「幼稚園」の割合が5割。

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(あてはまる番号1つに○)

「利用している」の割合が53.6%、
「利用していない」の割合が46.2%
となっています。

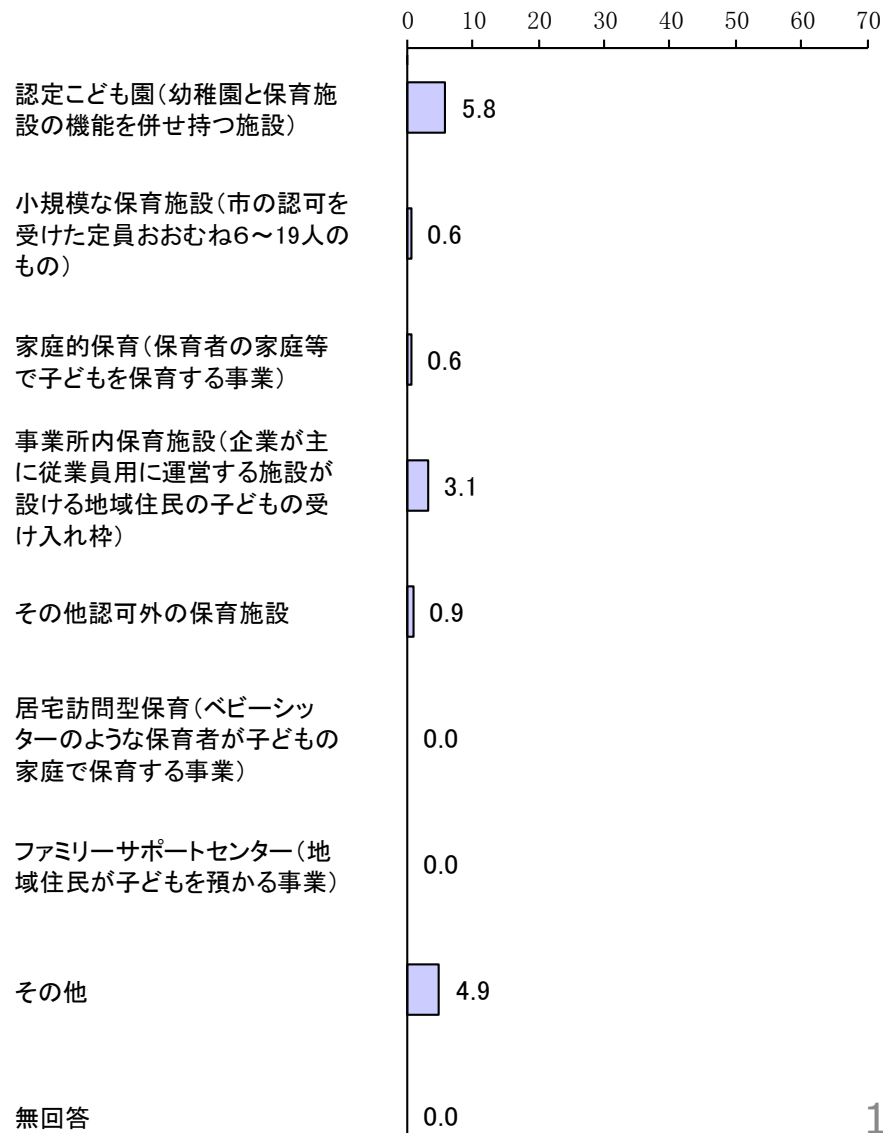
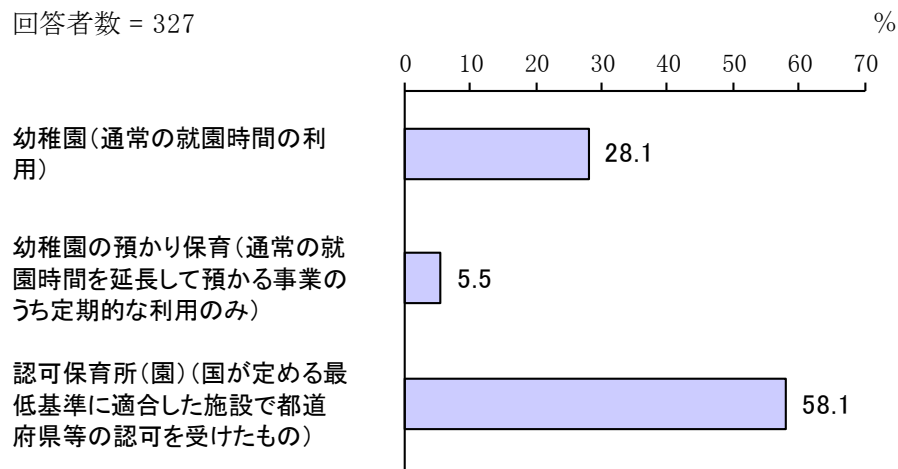
回答者数 = 610



問14-1 問14で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「認可保育所（園）（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が58.1%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が28.1%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が5.8%となっています。

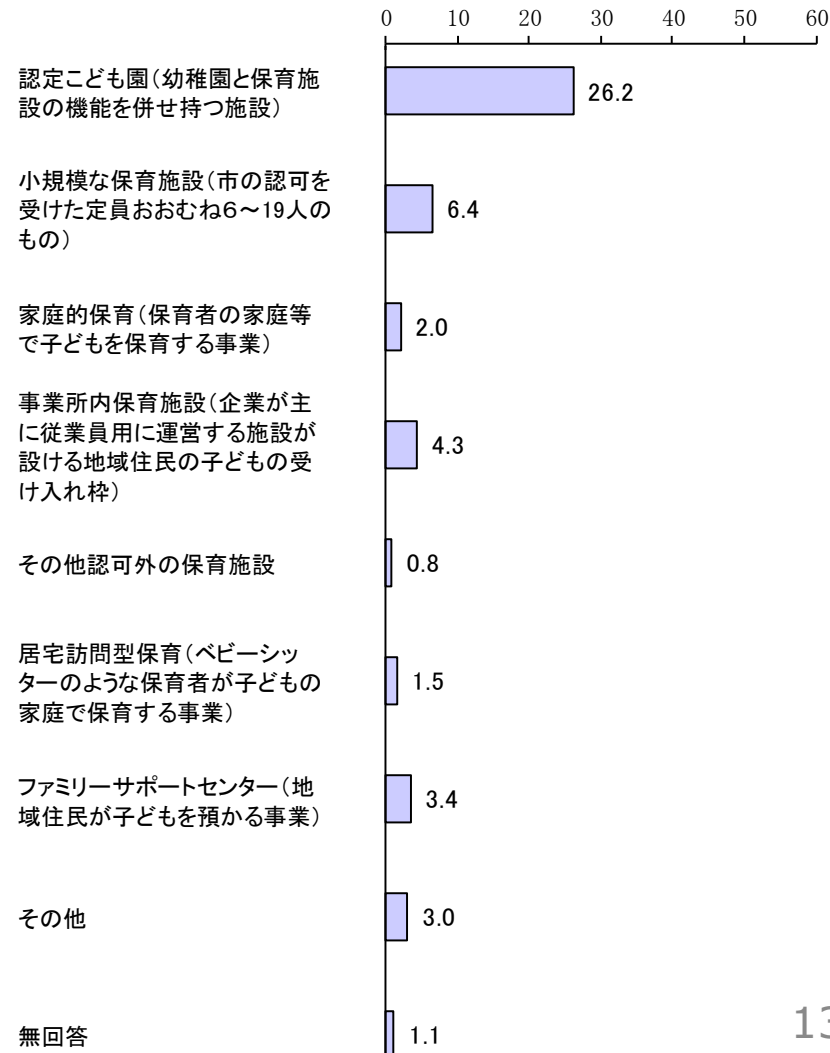
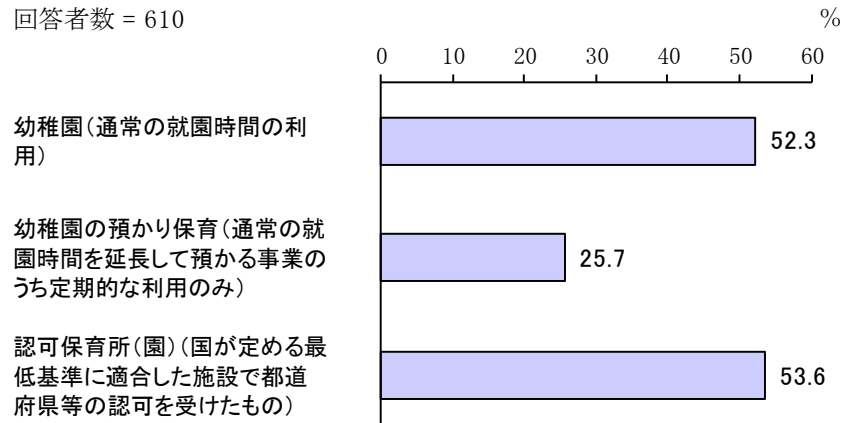
回答者数 = 327



問15 政府は、来年10月からの消費税率引き上げの時期に合わせて、3歳から5歳までの子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料の無償化を目指しています。また、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについても同様です。現在、利用している、利用していないにかかわらず、今後、宛名のお子さんについて、平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

「認可保育所（園）（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が53.6%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が52.3%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が26.2%となっています。

回答者数 = 610



(5) 地域の子育て支援事業の利用状況

◇地域子育て支援拠点事業の利用は約2割。

問16 宛名のお子さんと一緒に、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。
(次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。)

「利用していない」の割合が74.8%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」の割合が17.0%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」の割合が3.3%となっています。

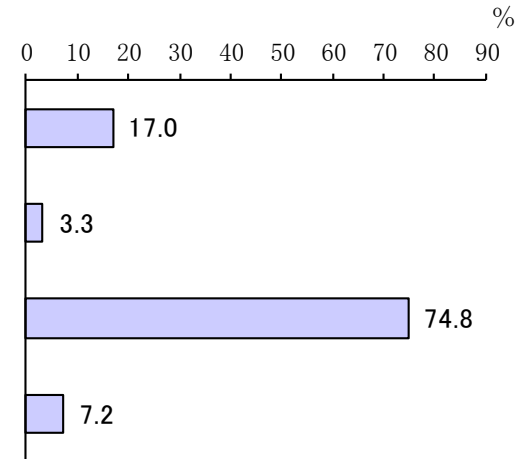
回答者数 = 610

地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)

その他当該自治体で実施している類似の事業

利用していない

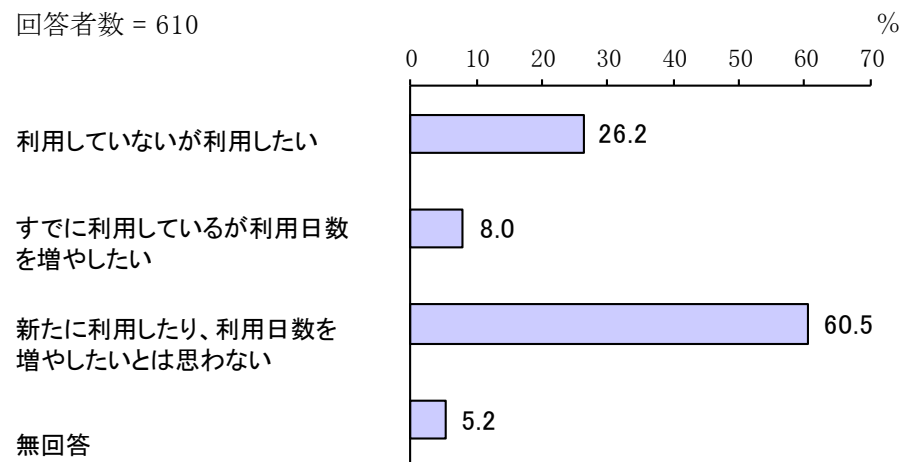
無回答



問17 問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が60.5%と最も高く、次いで「利用していないが利用したい」の割合が26.2%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」の割合が8.0%となっています。

回答者数 = 610



(6) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望

◇土曜日、曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は1割未満。

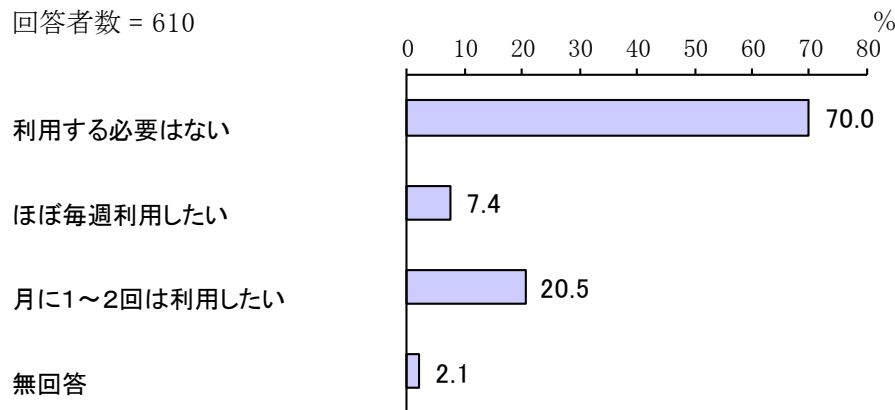
◇幼稚園の長期休暇期間中の利用希望は、週に数日の利用希望が5割。

問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

【土曜日】

「利用する必要はない」の割合が70.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が20.5%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が7.4%となっています。

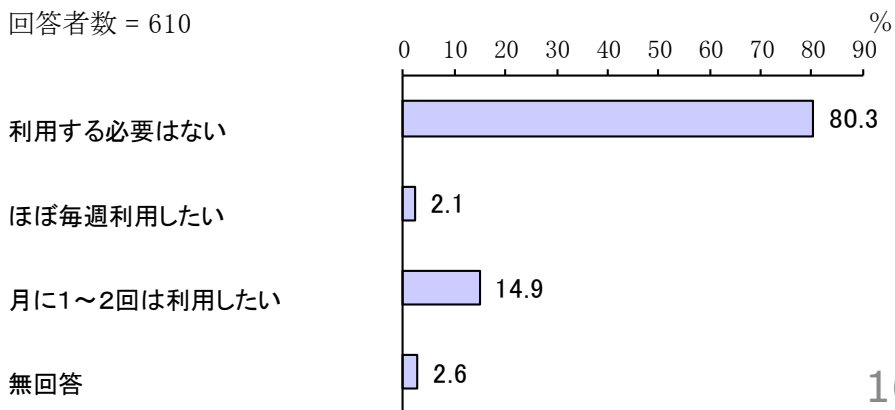
回答者数 = 610



【日曜・祝日】

「利用する必要はない」の割合が80.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が14.9%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が2.1%となっています。

回答者数 = 610



問20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が51.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が37.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が9.8%、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が2.2%となっています。

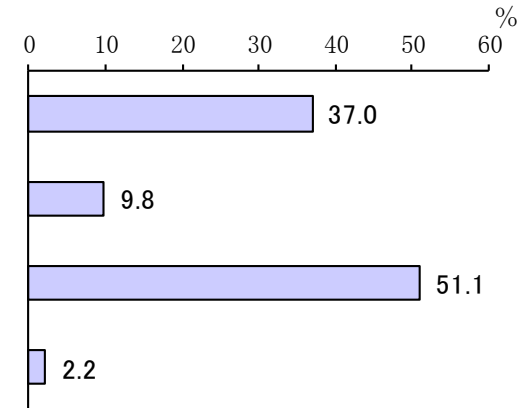
回答者数 = 92

利用する必要はない

休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

休みの期間中、週に数日利用したい

無回答



(7) 病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）

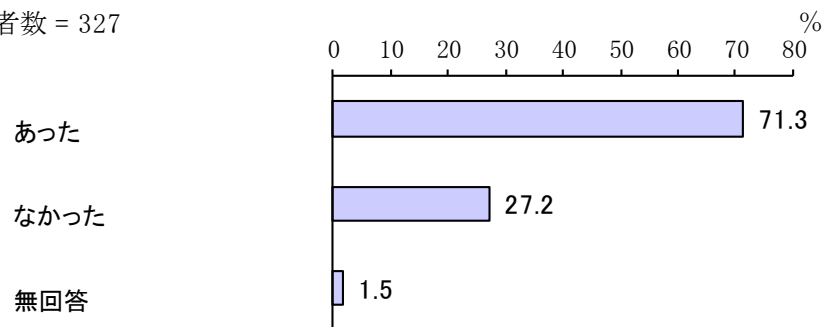
◇病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった保護者が7割。

◇その際に、病児・病後児の保育を利用した人が3割。

問21 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問14で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

「あった」の割合が71.3%、「なかった」の割合が27.2%となっています。

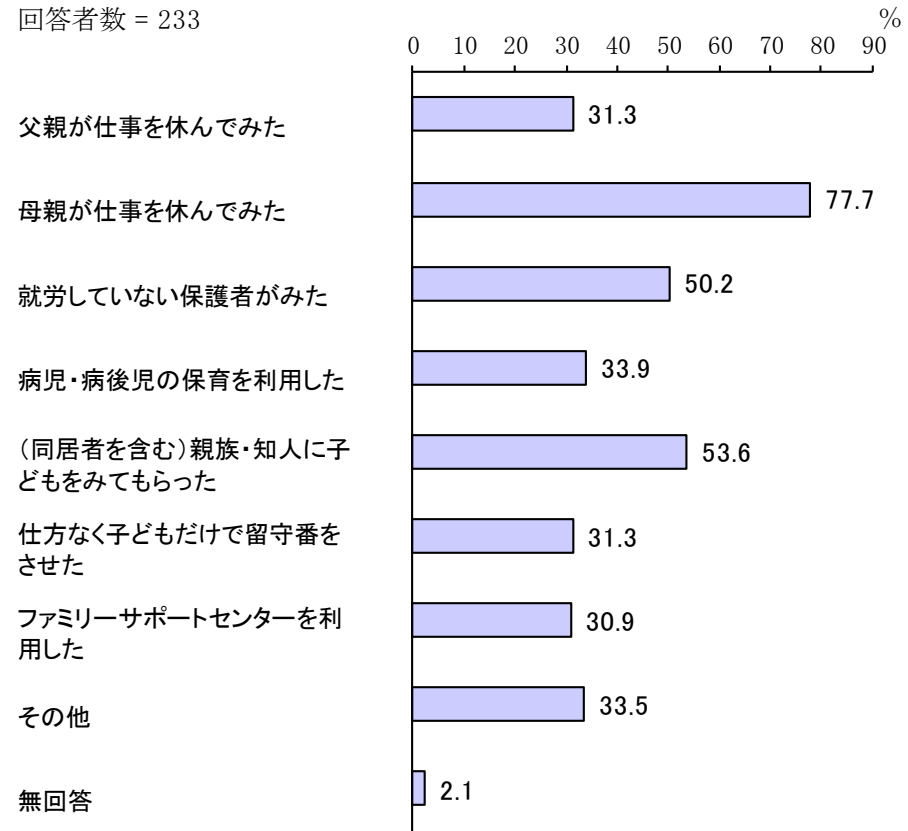
回答者数 = 327



問21-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

「母親が仕事を休んでみた」の割合が77.7%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が53.6%、「就労していない保護者がみた」の割合が50.2%となっています。

回答者数 = 233



問21-2 問21-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号1つに○)

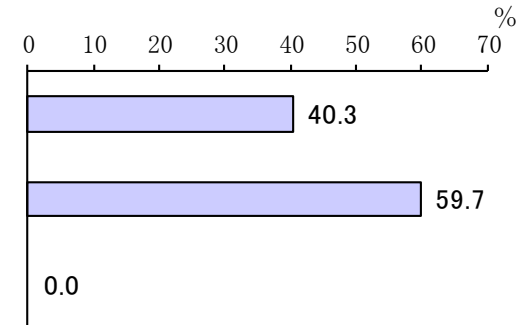
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が40.3%、「利用したいとは思わない」の割合が59.7%となっています。

回答者数 = 181

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

利用したいとは思わない

無回答



（８）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

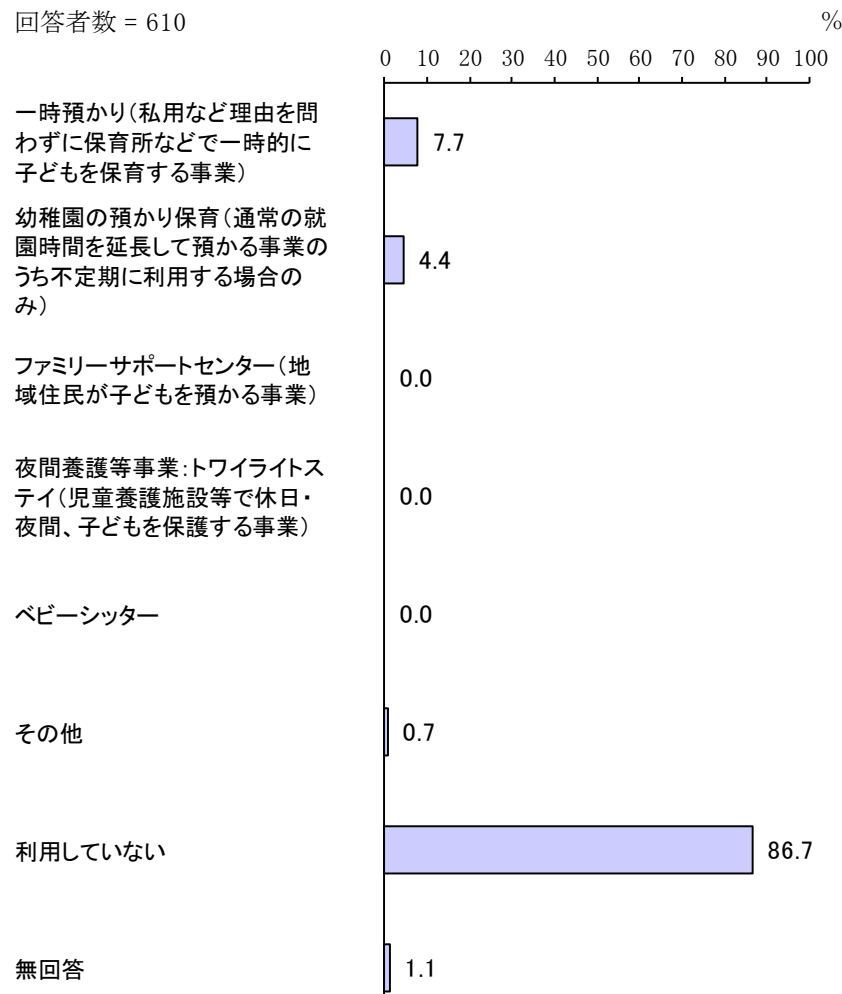
◇不定期の教育・保育事業を利用している人は１割ほど。

◇泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった人は１割ほど。

問22 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「利用していない」の割合が86.7%と最も高く、次いで「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」の割合が7.7%、「幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）」の割合が4.4%となっています。

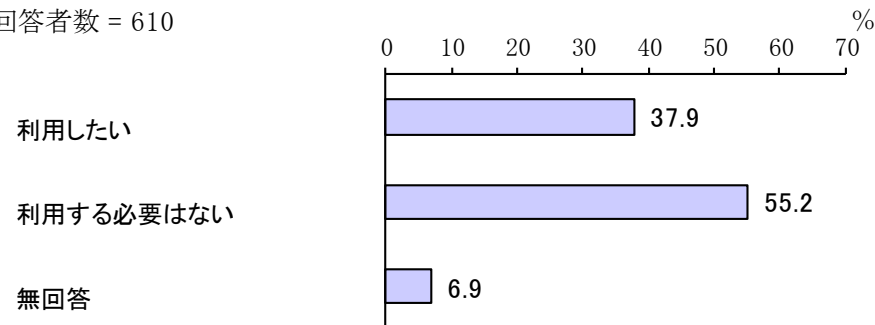
回答者数 = 610



問23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

「利用したい」の割合が37.9%、
「利用する必要はない」の割合が
55.2%となっています。

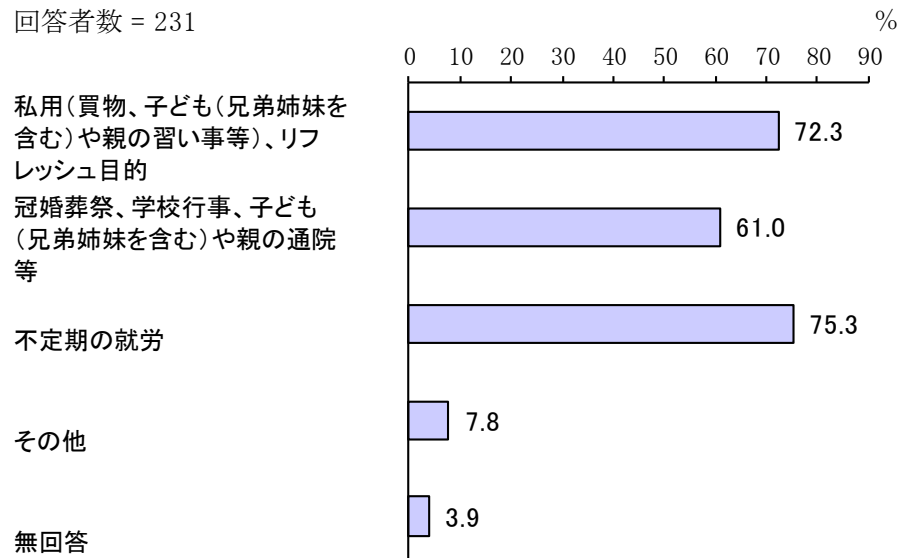
回答者数 = 610



【利用したい】

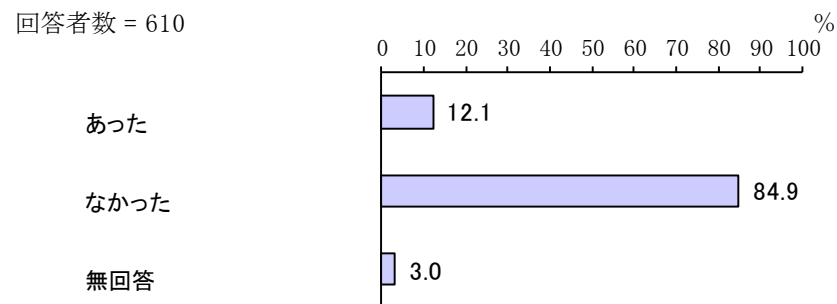
「不定期の就労」の割合が75.3%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が72.3%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が61.0%となっています。

回答者数 = 231



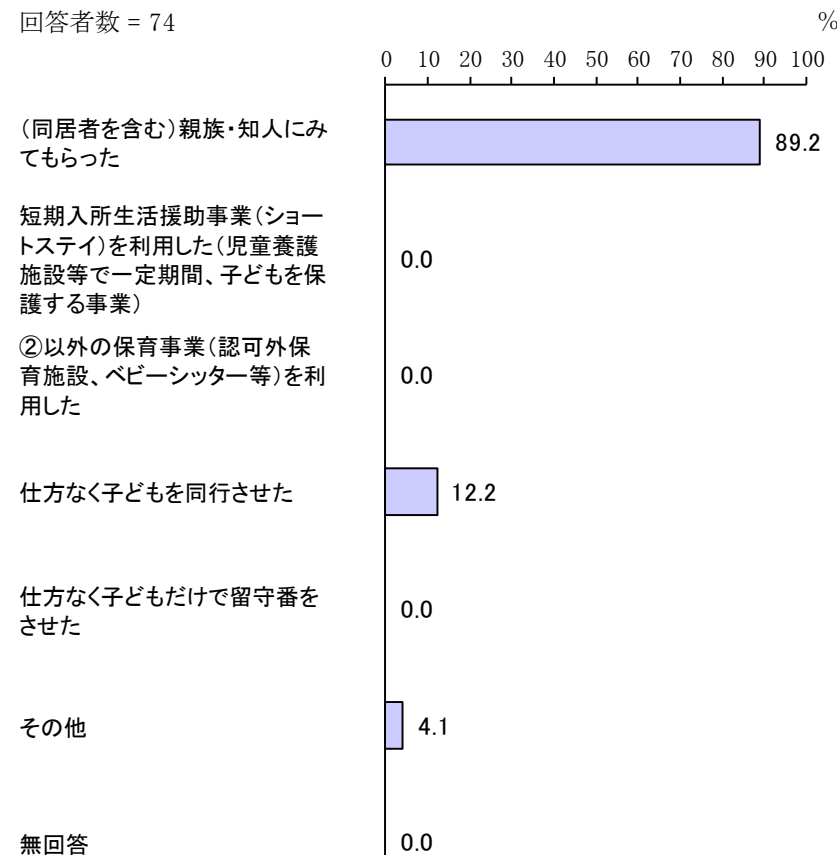
問24 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

「あった」の割合が12.1%、「なかった」の割合が84.9%となっています。



【1. あった】

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が89.2%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が12.2%となっています。



(9) お子さんの放課後の過ごし方の希望

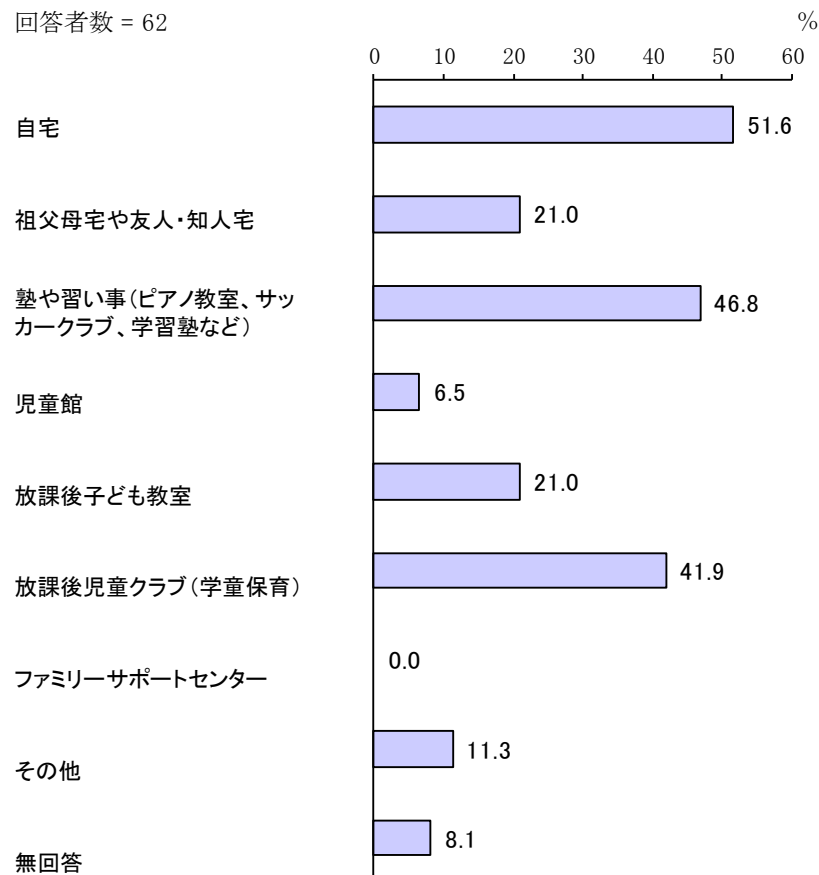
◇低学年のうちの「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は4割。高学年になると「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は2割ほど。

◇放課後に必要と思うものは「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が6割と最も高い。

問25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

「自宅」の割合が51.6%と最も高く、次いで「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が46.8%、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が41.9%となっています。

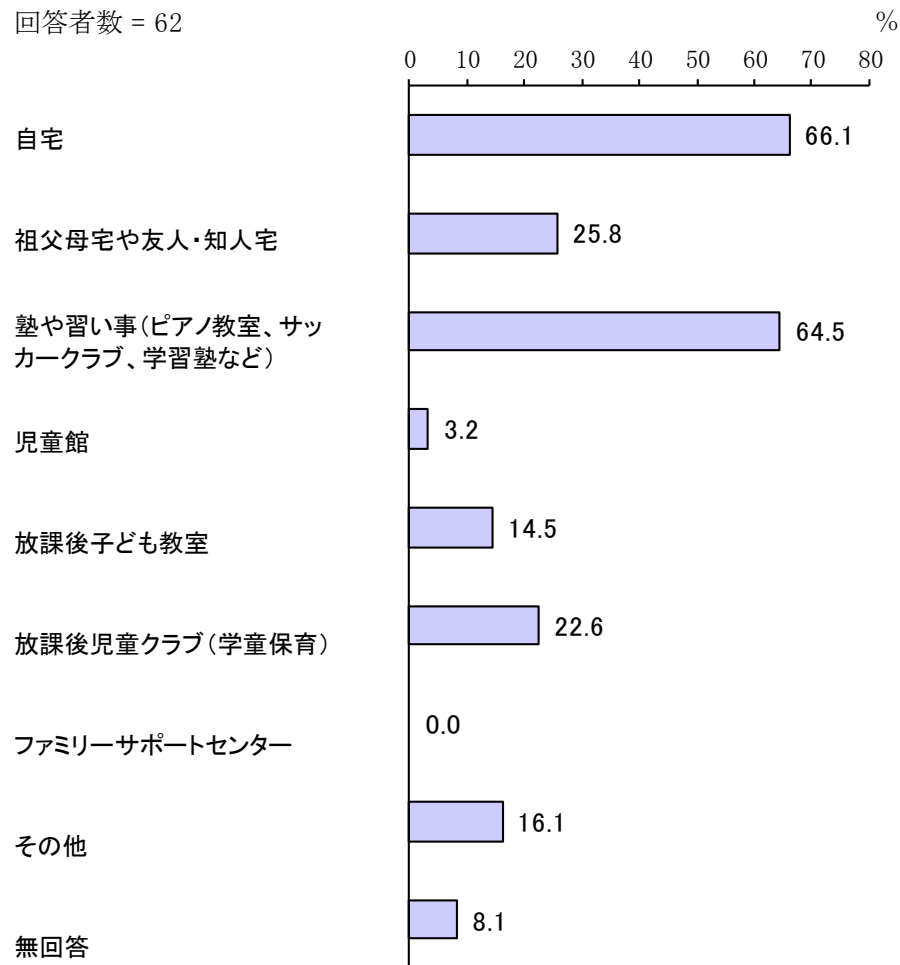
回答者数 = 62



問26 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

「自宅」の割合が66.1%と最も高く、次いで「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が64.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が25.8%となっています。

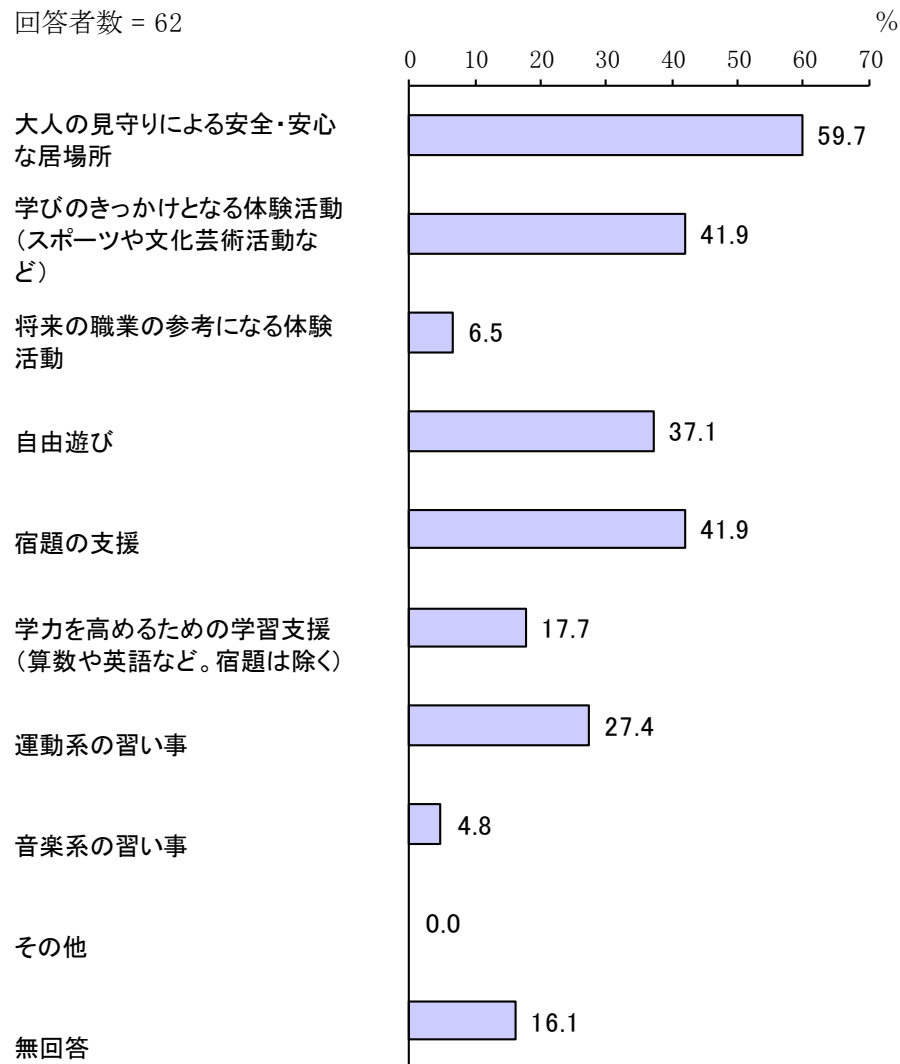
回答者数 = 62



問30 宛名のお子さんの放課後に必要と思うものは次のうちどれですか
(あてはまる番号3つまでに○)

「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が59.7%と最も高く、次いで「学びのきっかけとなる体験活動（スポーツや文化芸術活動など）」、「宿題の支援」の割合が41.9%となっています。

回答者数 = 62



(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

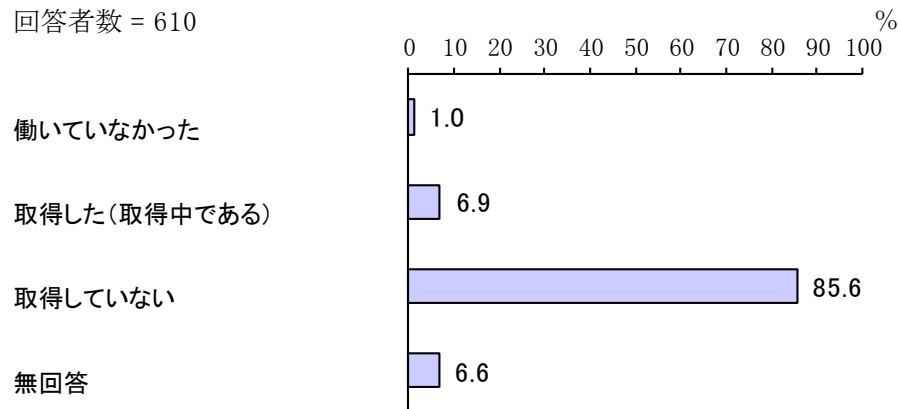
◇育児休業を取得していない割合は父親が86%、母親が10%。

問32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

【父親】

「取得していない」の割合が85.6%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が6.9%、「働いていなかった」の割合が1.0%となっています。

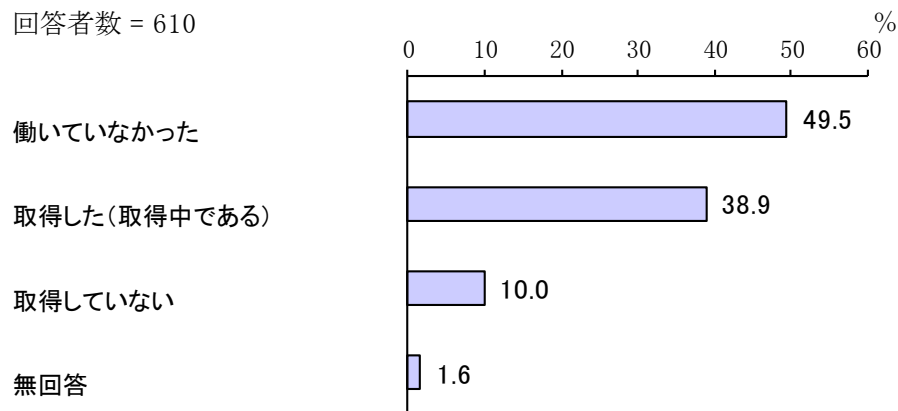
回答者数 = 610



【母親】

「働いていなかった」の割合が49.5%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が38.9%、「取得していない」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 610



(11) 子育て家庭の暮らし向き

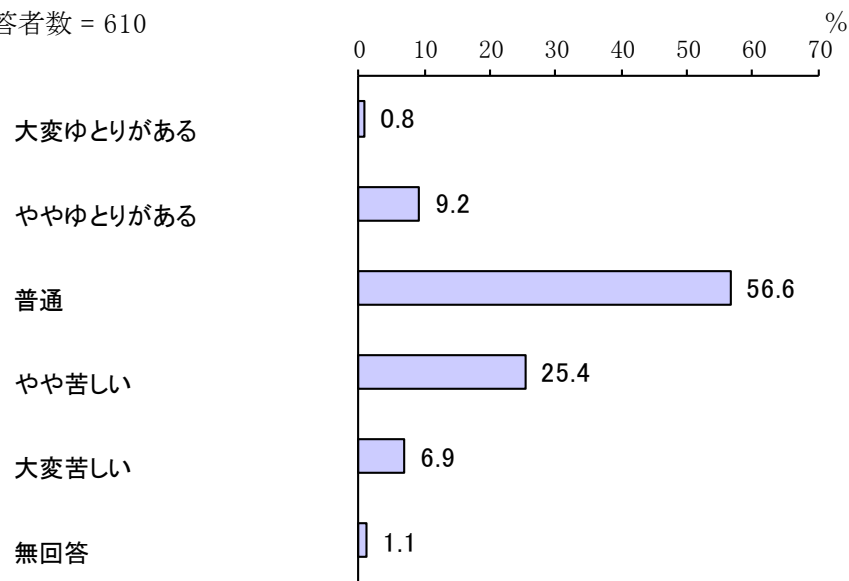
◇暮らしの状況を苦しいと感じている人が3割。

◇「子どもの学習支援」の利用に興味がある人が4割。

問34 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに○)

「普通」の割合が56.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が25.4%、「ややゆとりがある」の割合が9.2%となっています。

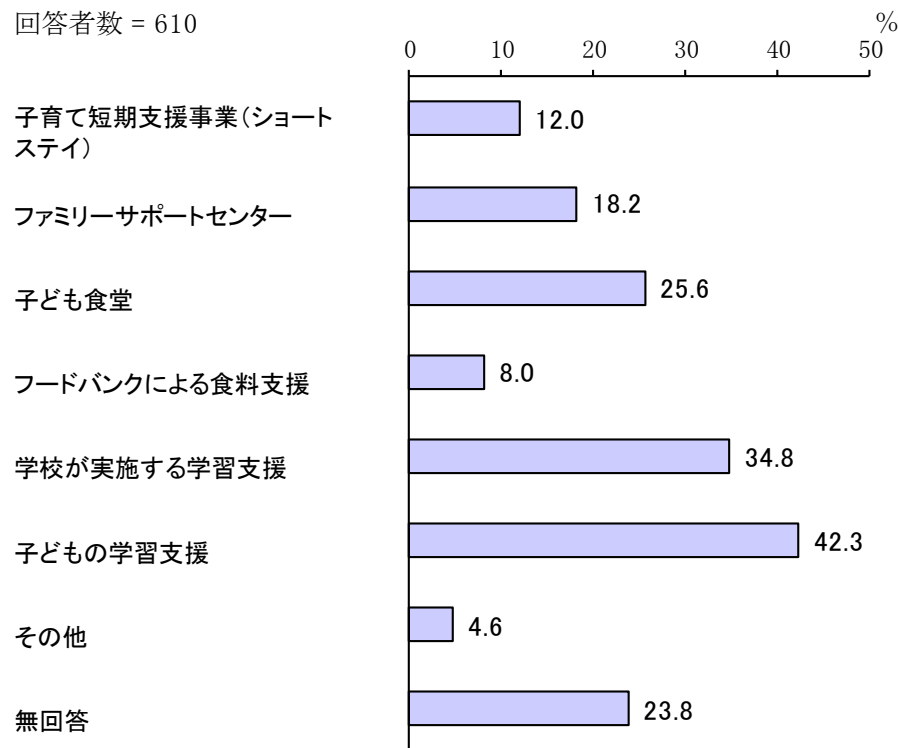
回答者数 = 610



問37 あなたの世帯では現在、どのような支援制度等を利用することに興味がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「子どもの学習支援」の割合が42.3%と最も高く、次いで「学校が実施する学習支援」の割合が34.8%、「子ども食堂」の割合が25.6%となっています。

回答者数 = 610



(12) 市の子育て施策について

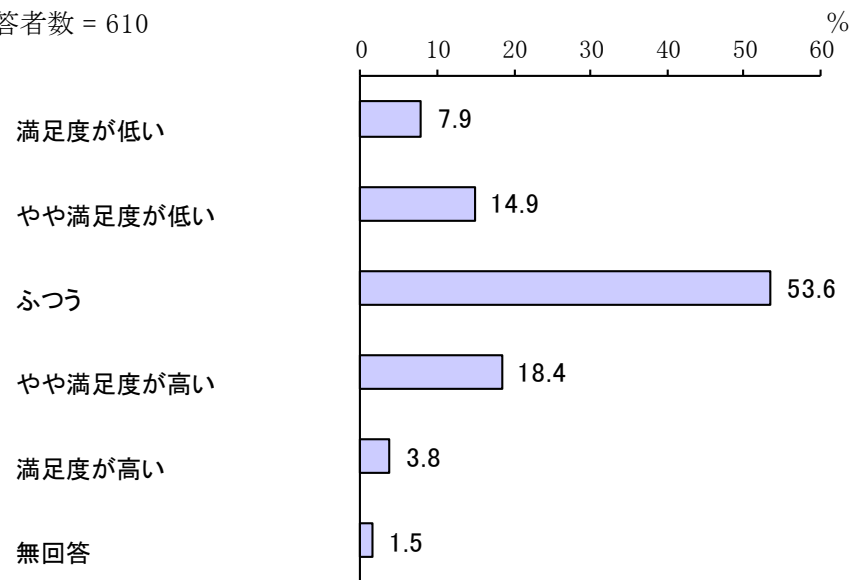
◇子育ての環境や支援に満足していない人が2割。

◇市に期待することとして「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」「小児救急医療体制の充実」の割合が高い。

問38 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

「ふつう」の割合が53.6%と最も高く、次いで「やや満足度が高い」の割合が18.4%、「やや満足度が低い」の割合が14.9%となっています。

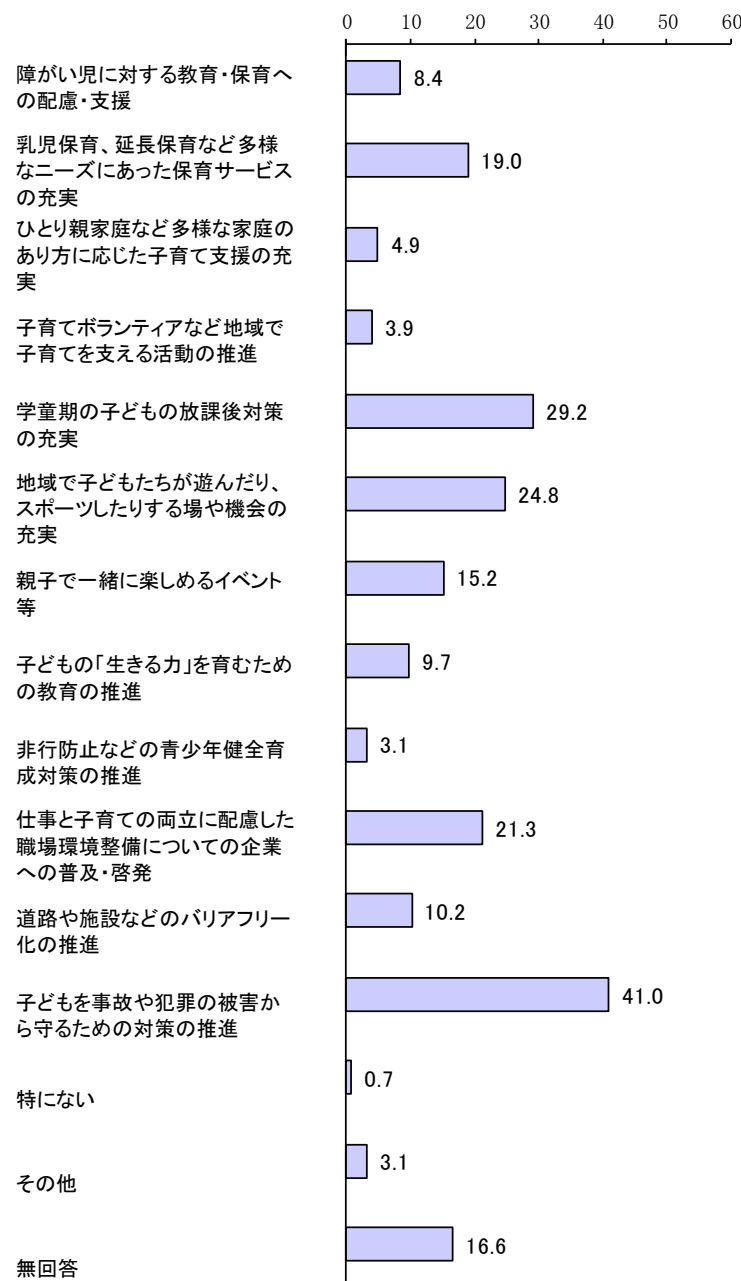
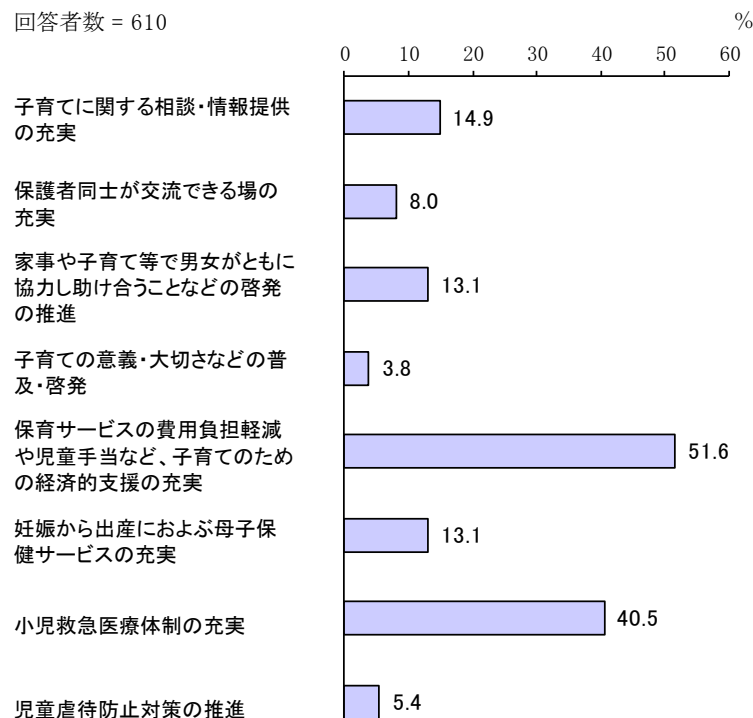
回答者数 = 610



問39 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを特に期待しますか。
(あてはまる番号5つまでに○)

「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」の割合が51.6%と最も高く、次いで「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」の割合が41.0%、「小児救急医療体制の充実」の割合が40.5%となっています。

回答者数 = 610



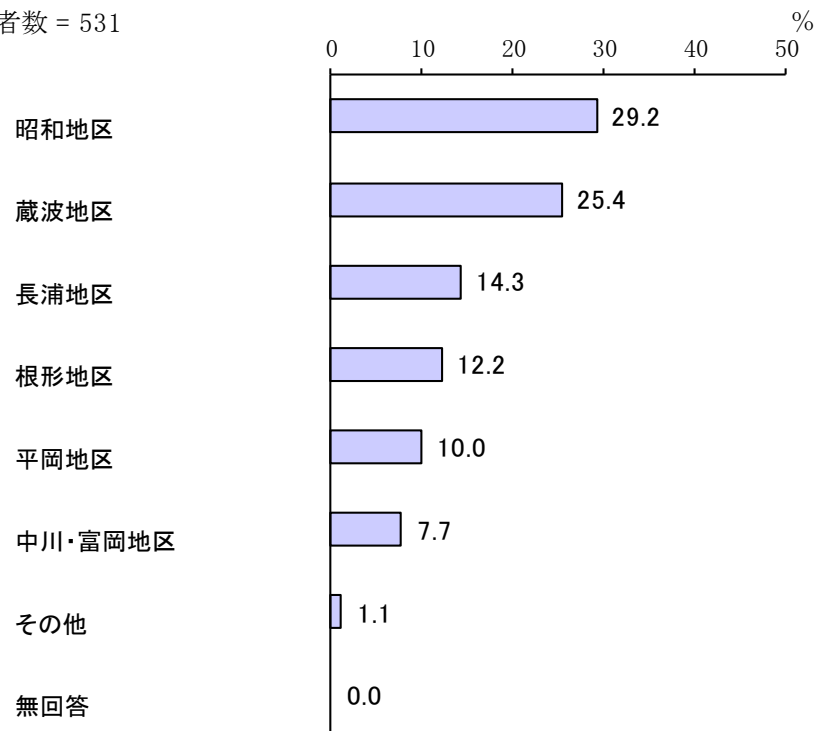
2 小学生保護者

(1) お子さんとご家族の状況

問1 お住まいの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

「昭和地区」の割合が29.2%と最も高く、次いで「蔵波地区」の割合が25.4%、「長浦地区」の割合が14.3%となっています。

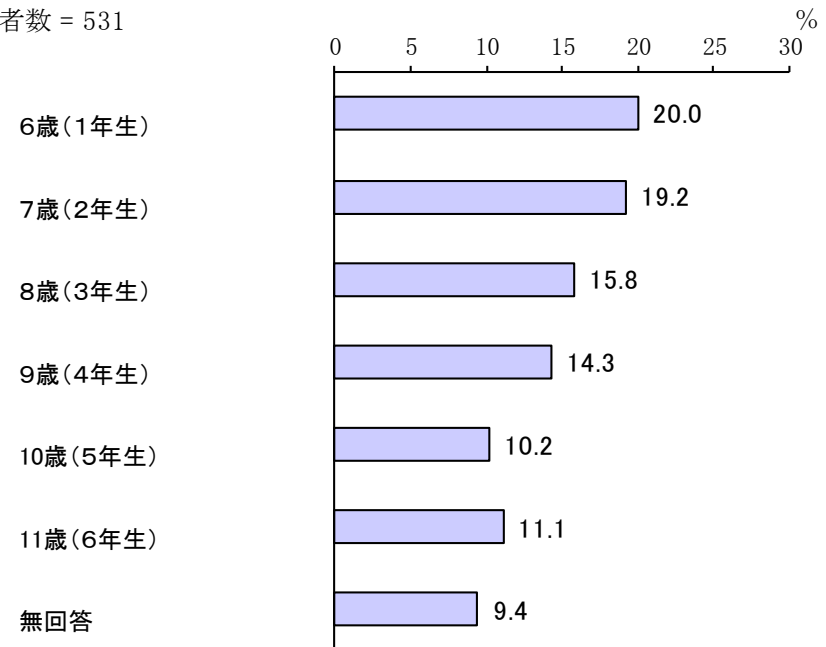
回答者数 = 531



問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)

「6歳（1年生）」の割合が20.0%と最も高く、次いで「7歳（2年生）」の割合が19.2%、「8歳（3年生）」の割合が15.8%となっています。

回答者数 = 531



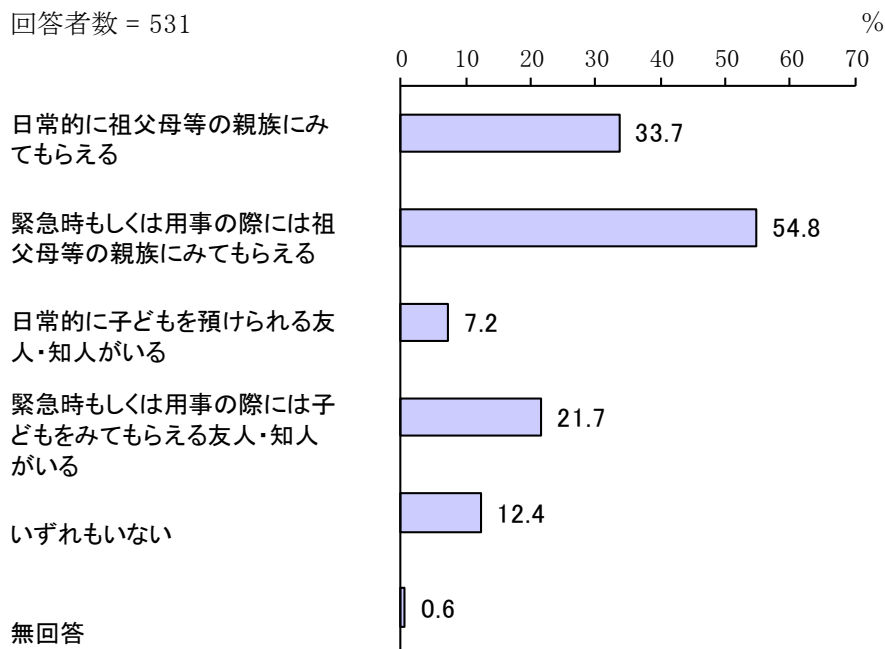
(2) お子さんの育ちをめぐる環境

◇「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が約35%と就学前児童と同様の傾向。

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が54.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が33.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が21.7%となっています。

回答者数 = 531



(3) お子さんの保護者の就労状況

◇就労している母親の割合が8割と就学前児童より高い。

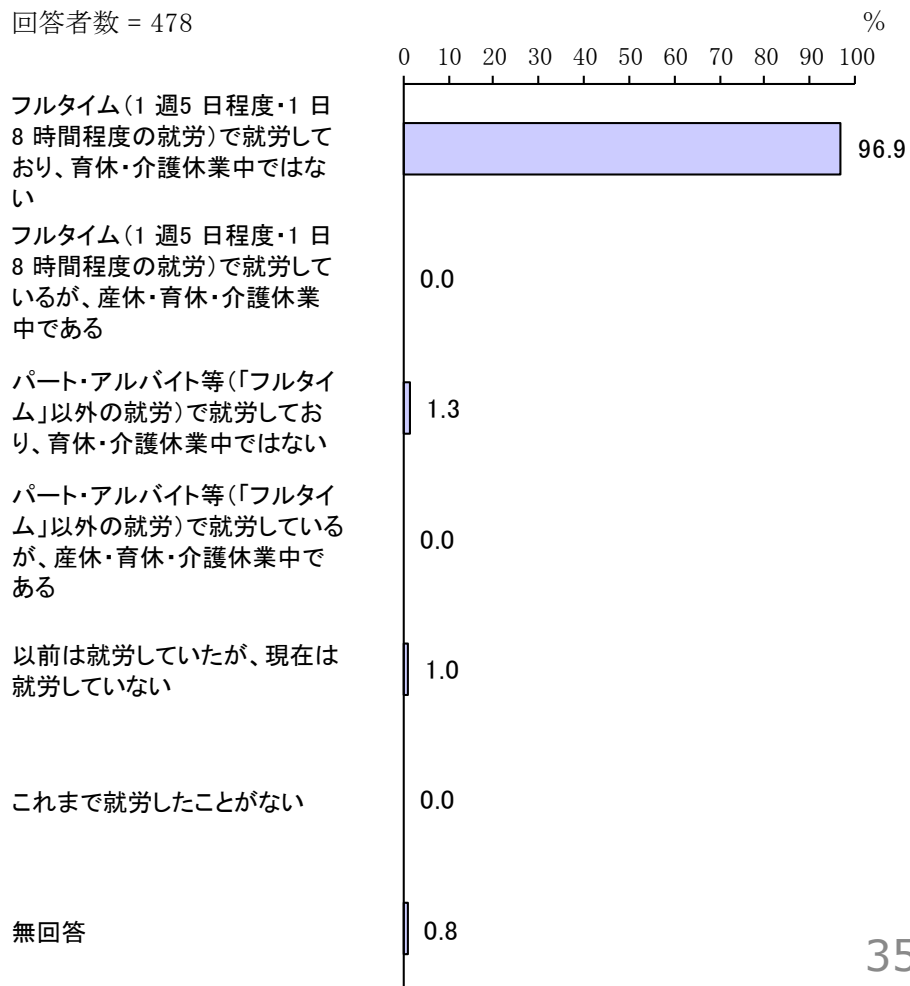
◇就労していない母親の今後の就労の希望は5割。

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

【父親】

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が96.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が1.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が1.0%となっています。

回答者数 = 478



【母親】

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が41.6%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が35.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 522

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

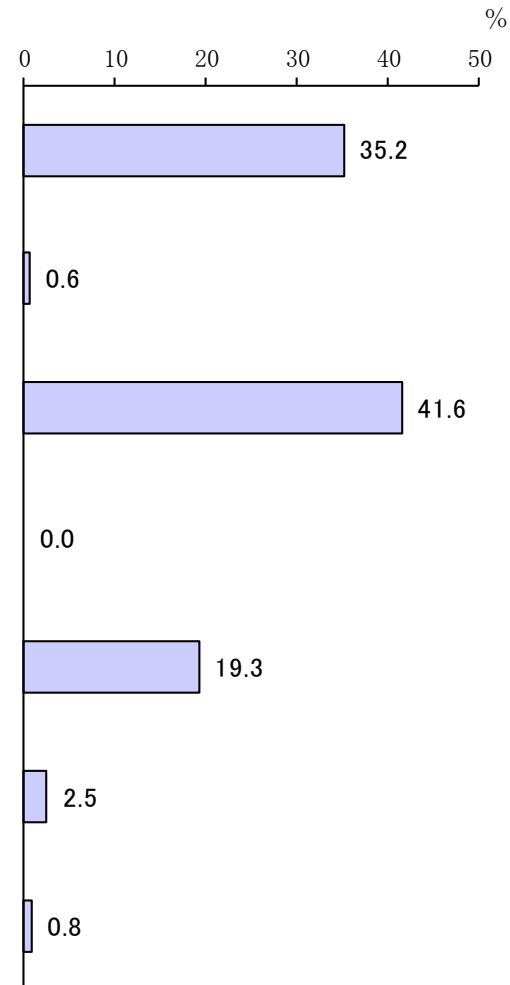
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

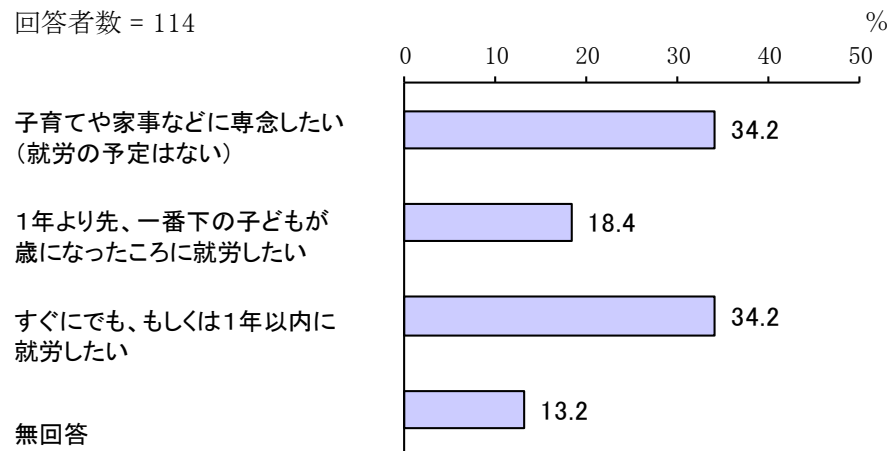


問13 問11で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)

【母親】

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が34.2%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 114



(4) お子さんの病気の際の対応

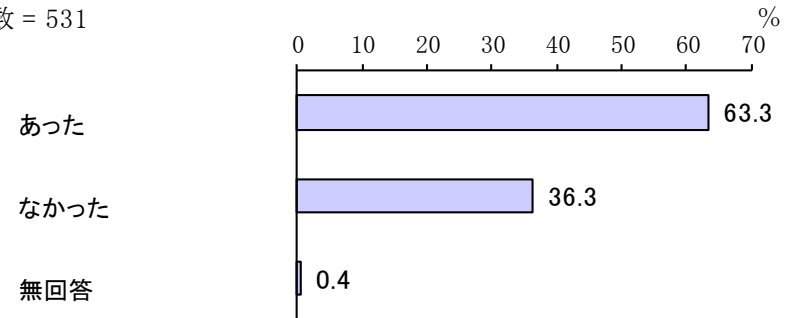
◇病気やケガで学校を休んだことがある人が6割と就学前児童とほぼ同等の傾向。

◇その際に、病児・病後児の保育を利用した人はほとんどいない。

問15 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

「あった」の割合が63.3%、「なかった」の割合が36.3%となっています。

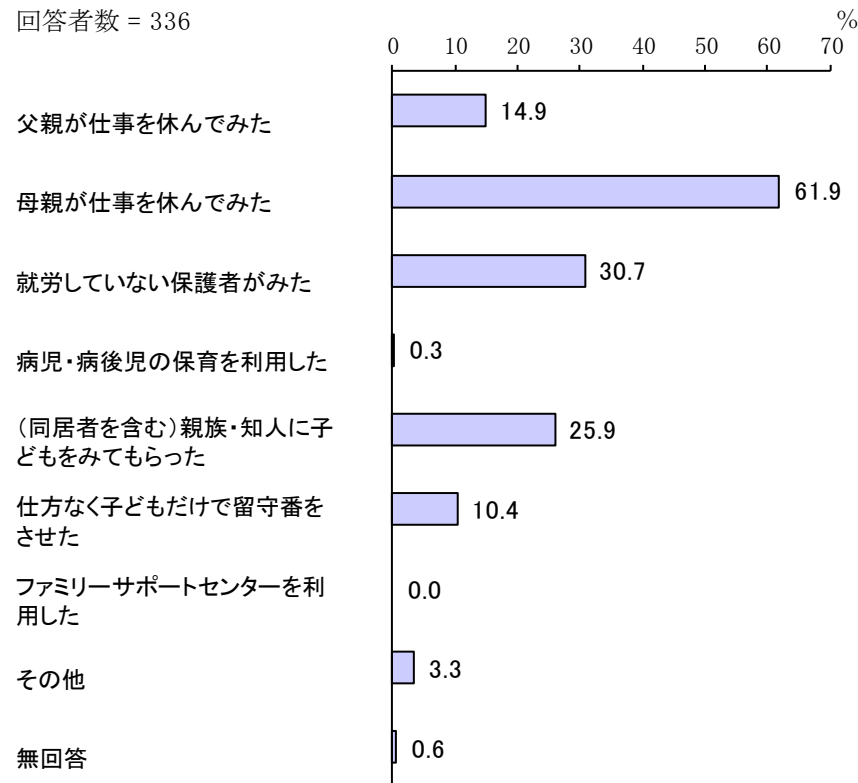
回答者数 = 531



問15-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

「母親が仕事を休んでみた」の割合が61.9%と最も高く、次いで「就労していない保護者がみた」の割合が30.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が25.9%となっています。

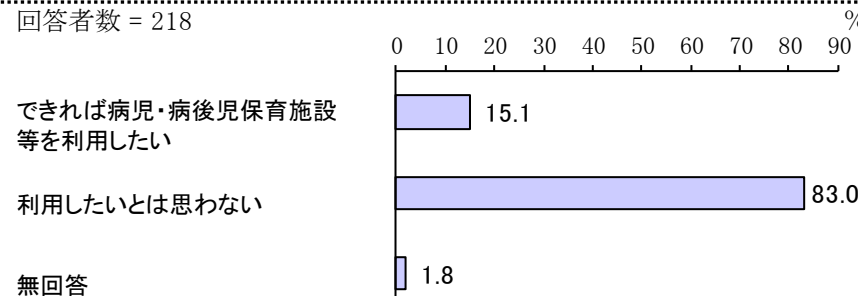
回答者数 = 336



問15-2 問15-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号1つに○)

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が15.1%、「利用したいとは思わない」の割合が83.0%となっています。

回答者数 = 218



- (5) お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用
- ◇不定期の教育・保育事業を利用している人はほとんどいない。
- ◇泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった人は1割ほど。

問16 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「利用していない」の割合が95.3%と最も高く、次いで「ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）」の割合が0.8%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）」の割合が0.2%となっています。

回答者数 = 531

ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）

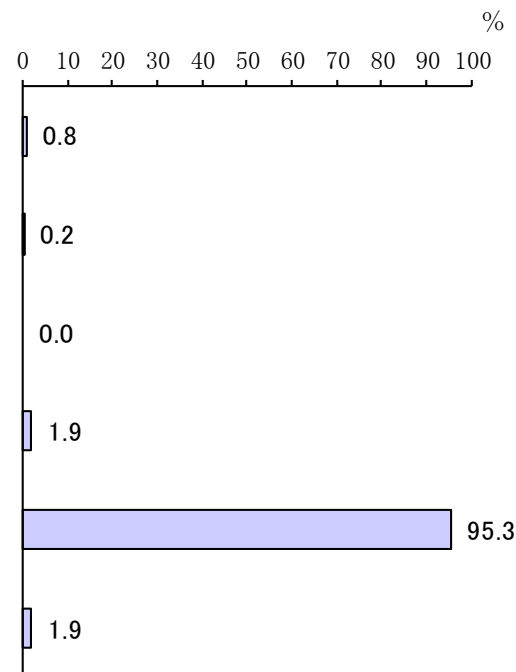
夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）

ベビーシッター

その他

利用していない

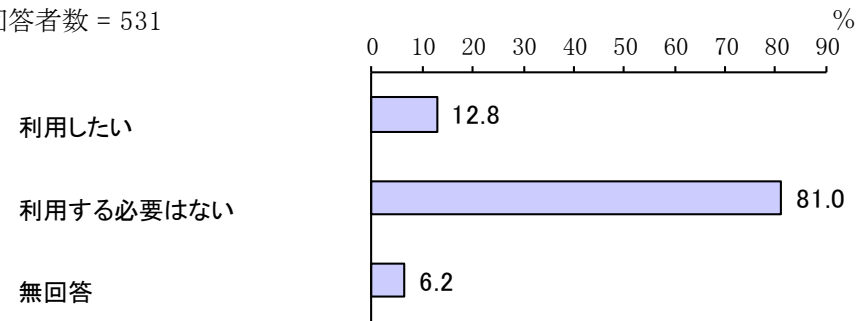
無回答



問17 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

「利用したい」の割合が12.8%、
「利用する必要はない」の割合が
81.0%となっています。

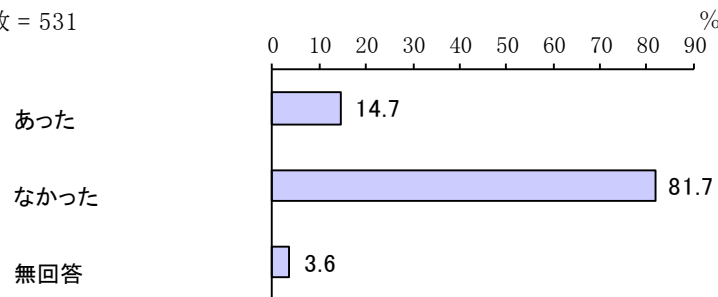
回答者数 = 531



問18 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

「あった」の割合が14.7%、「なかった」の割合が81.7%となっています。

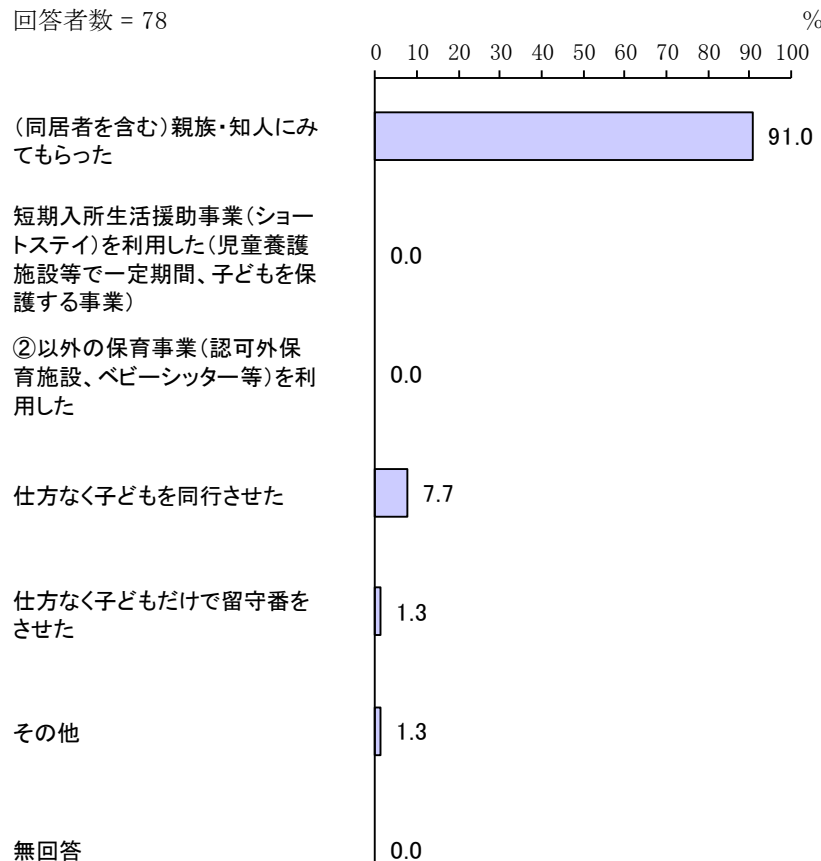
回答者数 = 531



【1. あった】

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が91.0%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が7.7%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が1.3%となっています。

回答者数 = 78



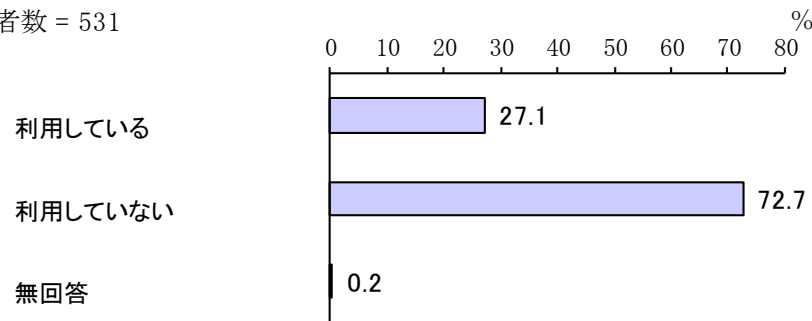
（６）お子さんの放課後の過ごし方の希望

- ◇「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用している割合は３割。
- ◇「放課後子ども教室」に登録している割合は６％。
- ◇低学年のうちの「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は３割と就学前児童より低い。高学年になると「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は２割。
- ◇放課後に必要と思うものは「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が６割と最も高い。

問19 宛名のお子さんは放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。（あてはまる番号１つに○）

「利用している」の割合が27.1%、
「利用していない」の割合が72.7%
となっています。

回答者数 = 531

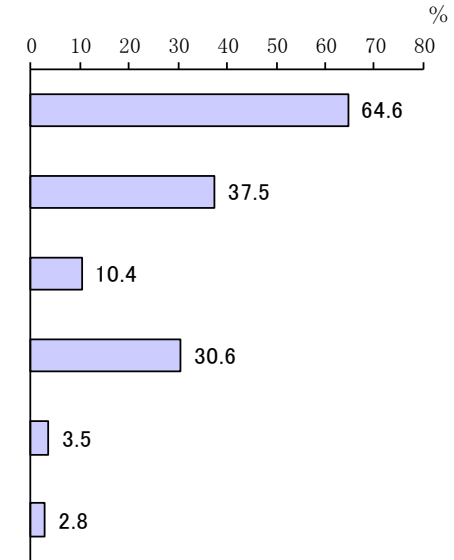


問19-1 問19で「1. 利用している」と回答した方に質問します。放課後児童クラブ(学童保育)を利用しない日はどのように過ごしていますか。主な過ごし方を2つまで記入してください。

「家族などの大人と過ごしている」の割合が64.6%と最も高く、次いで「友達や兄弟姉妹と過ごしている」の割合が37.5%、「習い事(学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど)に通っている」の割合が30.6%となっています。

回答者数 = 144

家族などの大人と過ごしている
友達や兄弟姉妹と過ごしている
ひとりで過ごしている
習い事(学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど)に通っている
その他
無回答

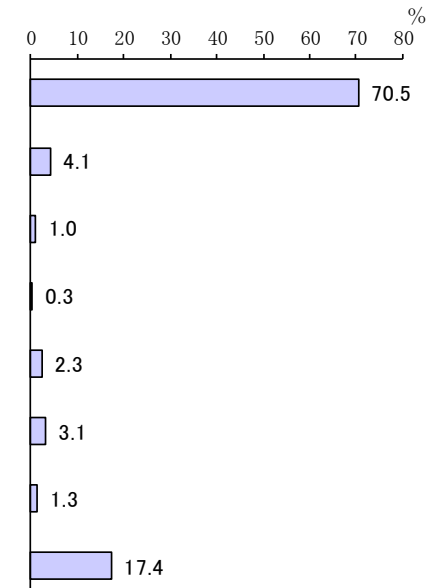


問19-2 問19で「2. 利用していない」と回答した方に質問します。お子さんは、放課後は主にどこで過ごしていますか。(あてはまる番号1つに○)

「自宅」の割合が70.5%と最も高く、次いで「祖父母・親戚の家」の割合が4.1%、「塾や習い事」の割合が3.1%となっています。

回答者数 = 386

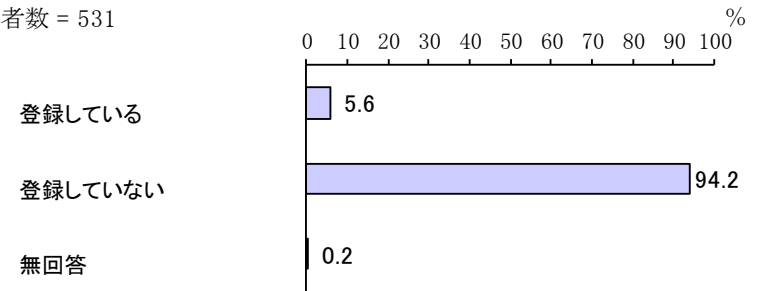
自宅
祖父母・親戚の家
友達・知人の家
民間の預かりサービス
公園・図書館などの公共施設
塾や習い事
その他
無回答



問20 お子さんは放課後子ども教室に登録していますか。(あてはまる番号1つに○)

「登録している」の割合が5.6%、
「登録していない」の割合が94.2%
となっています。

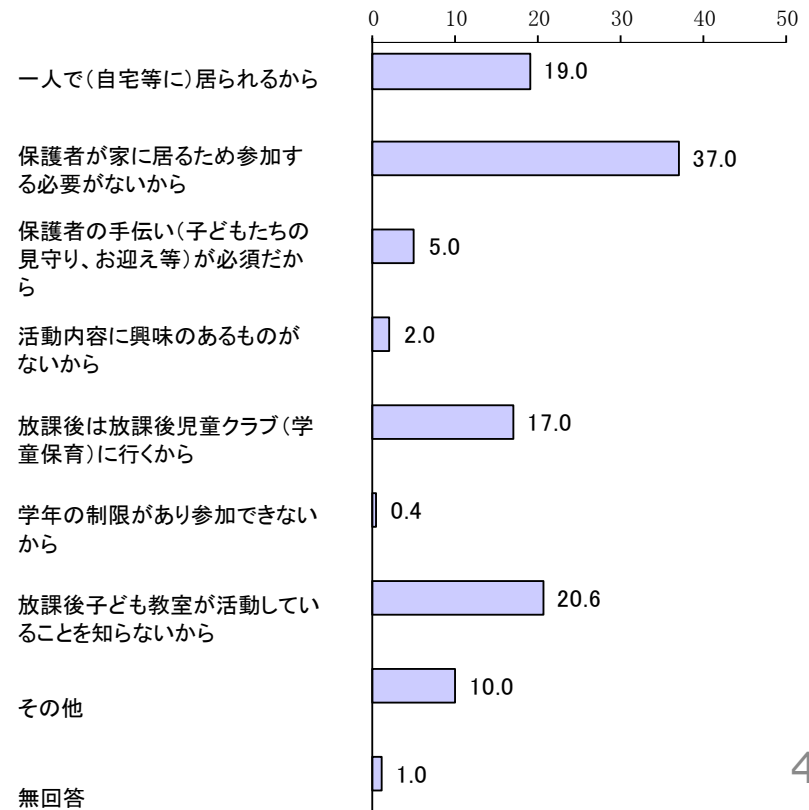
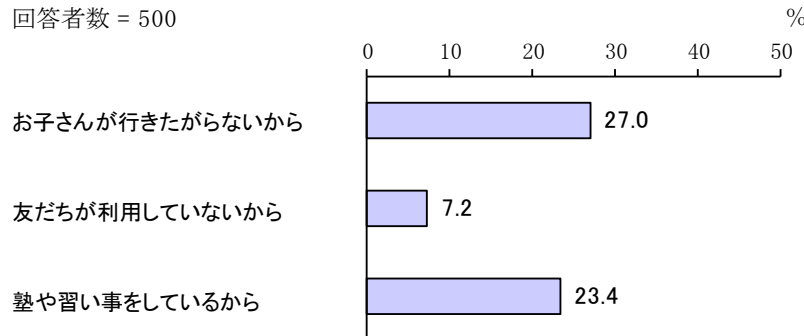
回答者数 = 531



問20-2 問20で「2. 登録していない」と回答した方に質問します。登録しない理由は次のうちどれですか。(あてはまる番号3つまでに○)

「保護者が家に居るため参加する必要がないから」の割合が37.0%と最も高く、次いで「お子さんが行きたがらないから」の割合が27.0%、
「塾や習い事をしているから」の割合が23.4%となっています。

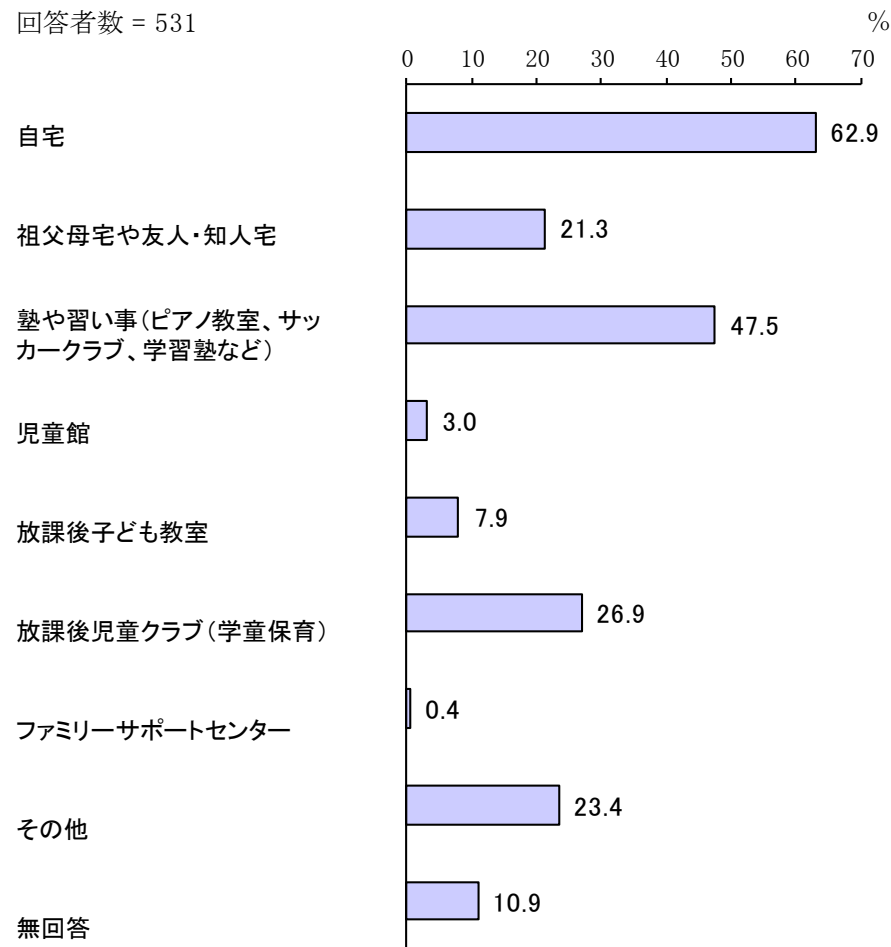
回答者数 = 500



問24 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「自宅」の割合が62.9%と最も高く、次いで「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が47.5%、「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が26.9%となっています。

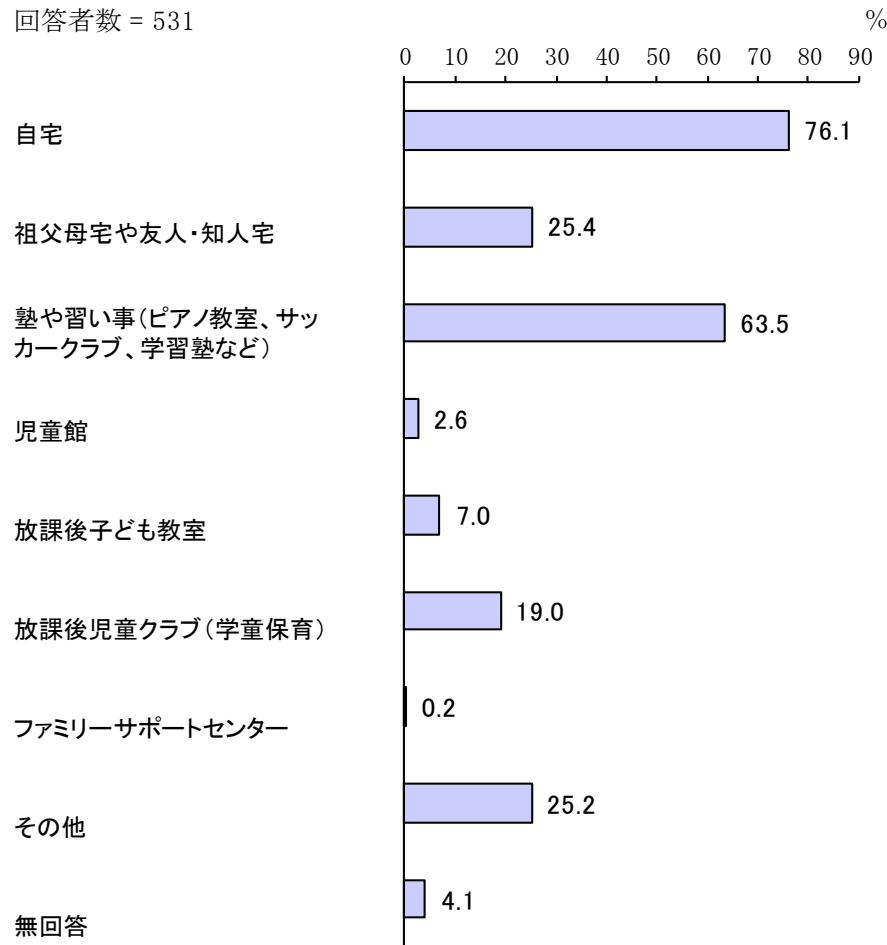
回答者数 = 531



問25 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「自宅」の割合が76.1%と最も高く、次いで「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が63.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が25.4%となっています。

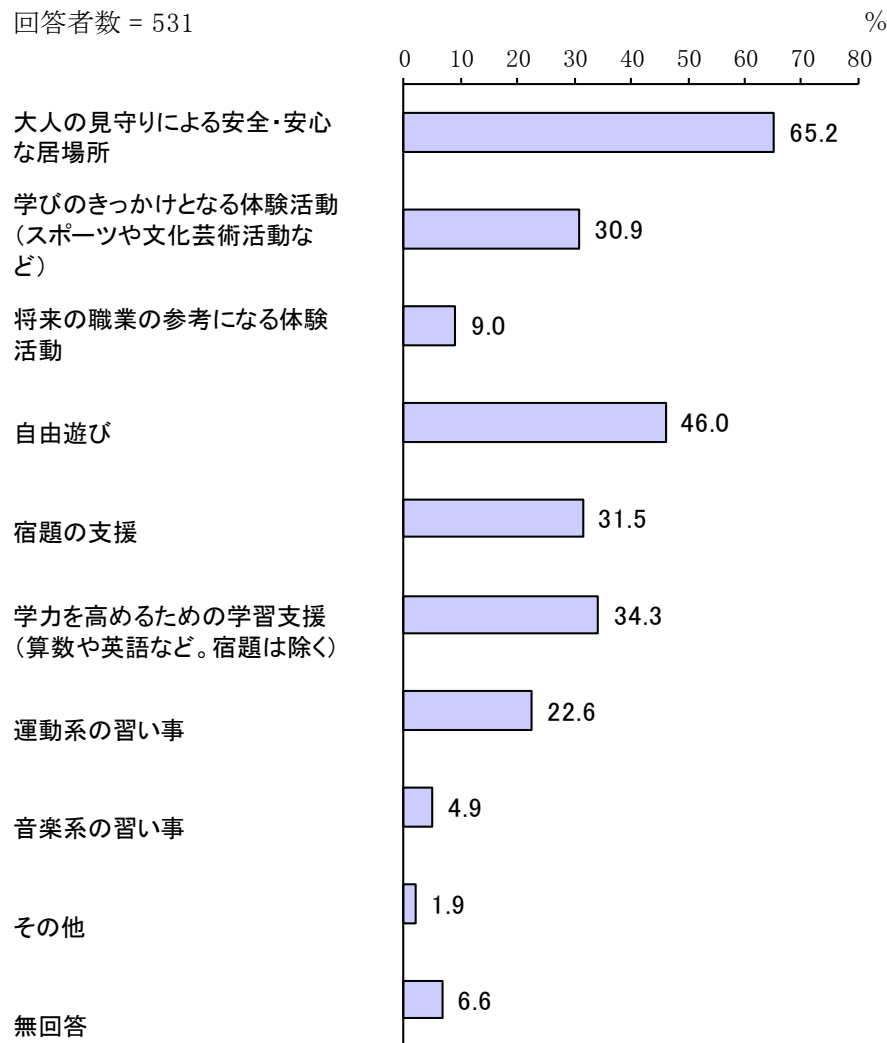
回答者数 = 531



問29 お子さんの放課後に必要と思うものは次のうちどれですか
(あてはまる番号3つまでに○)

「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が65.2%と最も高く、次いで「自由遊び」の割合が46.0%、「学力を高めるための学習支援（算数や英語など。宿題は除く）」の割合が34.3%となっています。

回答者数 = 531



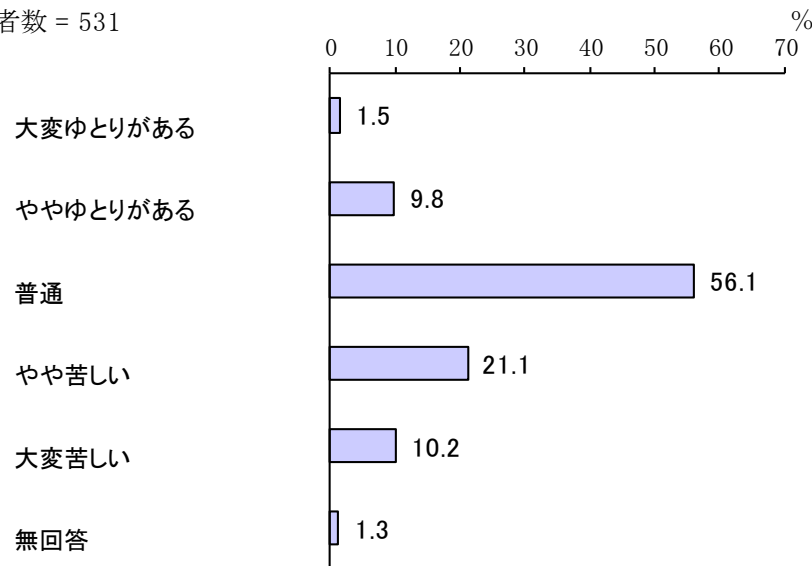
(7) 子育て家庭の暮らし向き

- ◇暮らしの状況を苦しいと感じている人が3割と就学前児童と同様の傾向。
- ◇「学校が実施する学習支援」の利用に興味がある人が4割以上と最も高い。

問33 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに○)

「普通」の割合が56.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が21.1%、「大変苦しい」の割合が10.2%となっています。

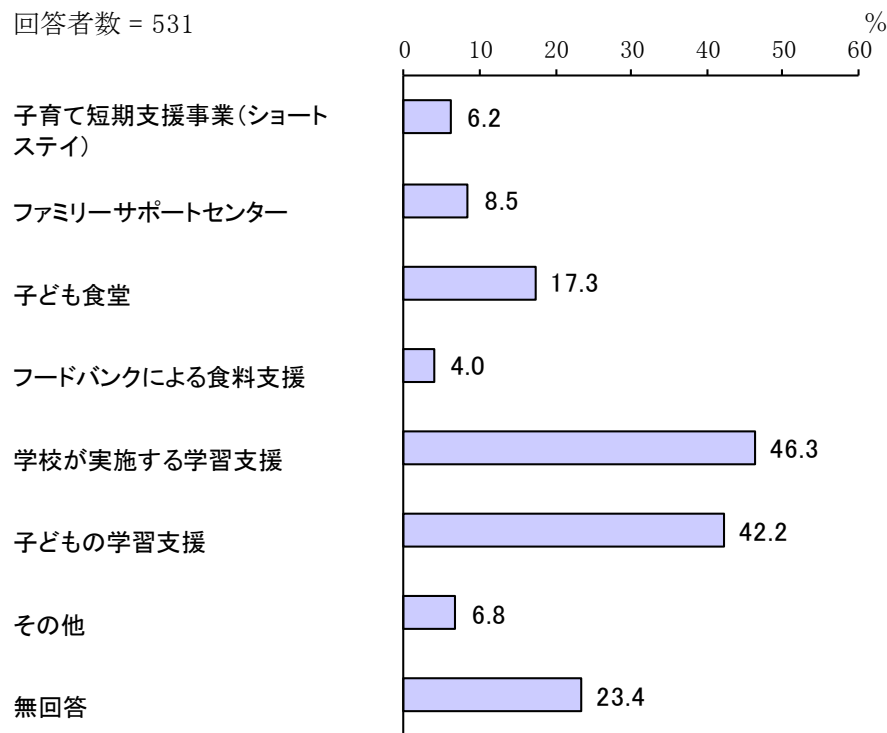
回答者数 = 531



問36 あなたの世帯では現在、どのような支援制度等を利用することに興味がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「学校が実施する学習支援」の割合が46.3%と最も高く、次いで「子どもの学習支援」の割合が42.2%、「子ども食堂」の割合が17.3%となっています。

回答者数 = 531



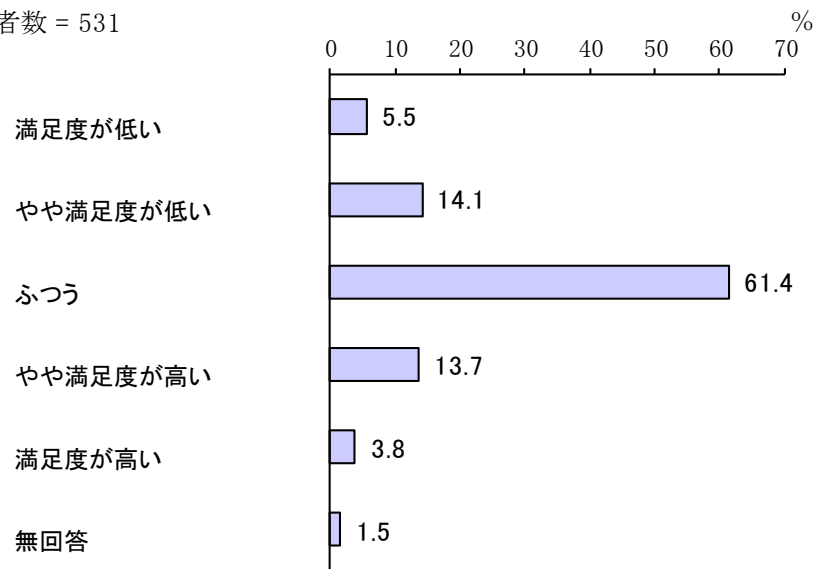
（８）市の子育て施策について

- ◇子育ての環境や支援に満足していない人が２割と就学前児童と同様の傾向。
- ◇市に期待することとして「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が最も高く、就学前児童に比べて高い。

問37 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

「ふつう」の割合が61.4%と最も高く、次いで「やや満足度が低い」の割合が14.1%、「やや満足度が高い」の割合が13.7%となっています。

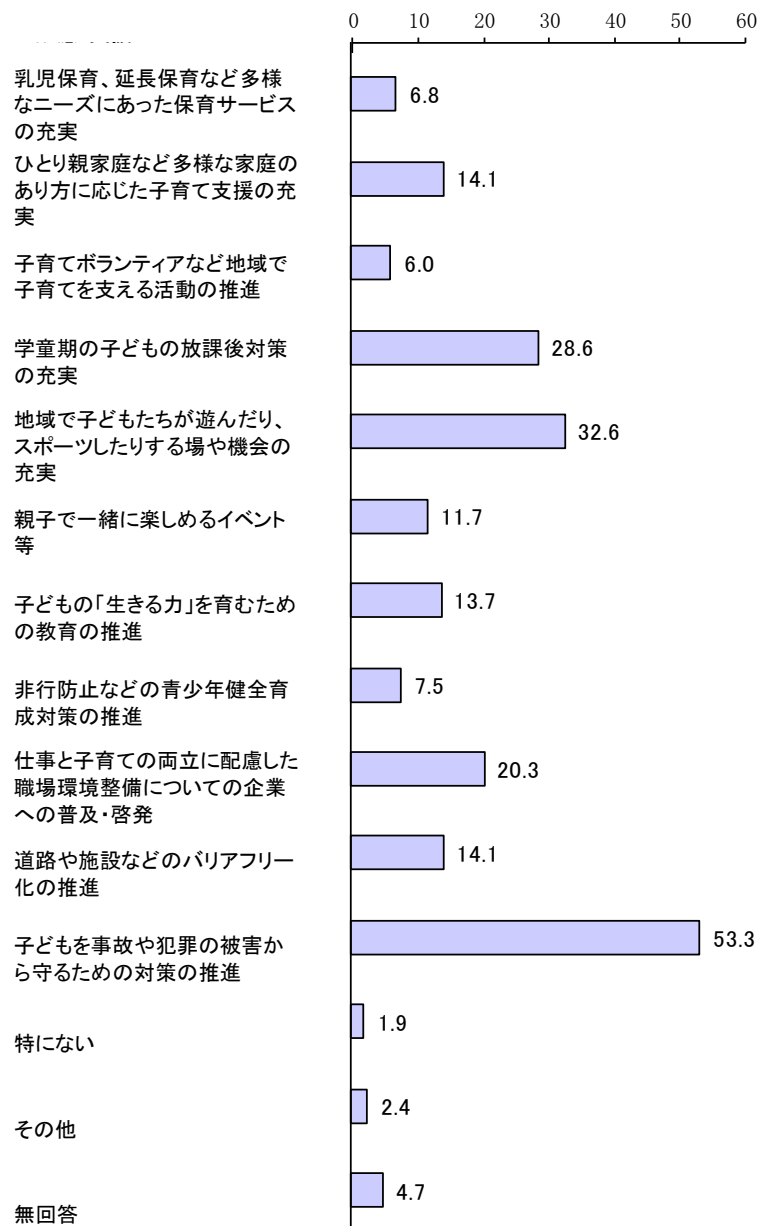
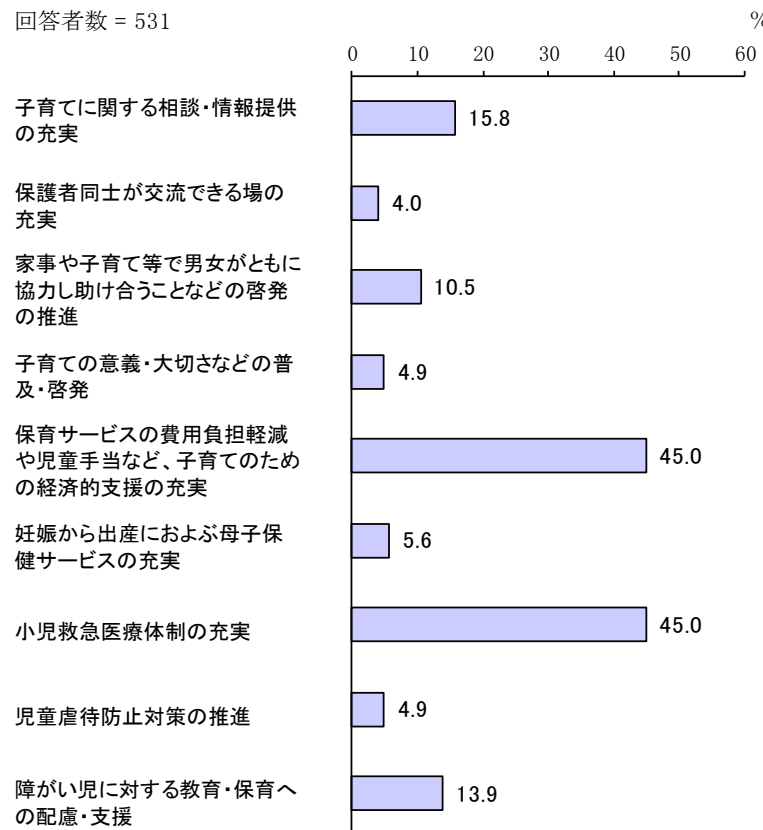
回答者数 = 531



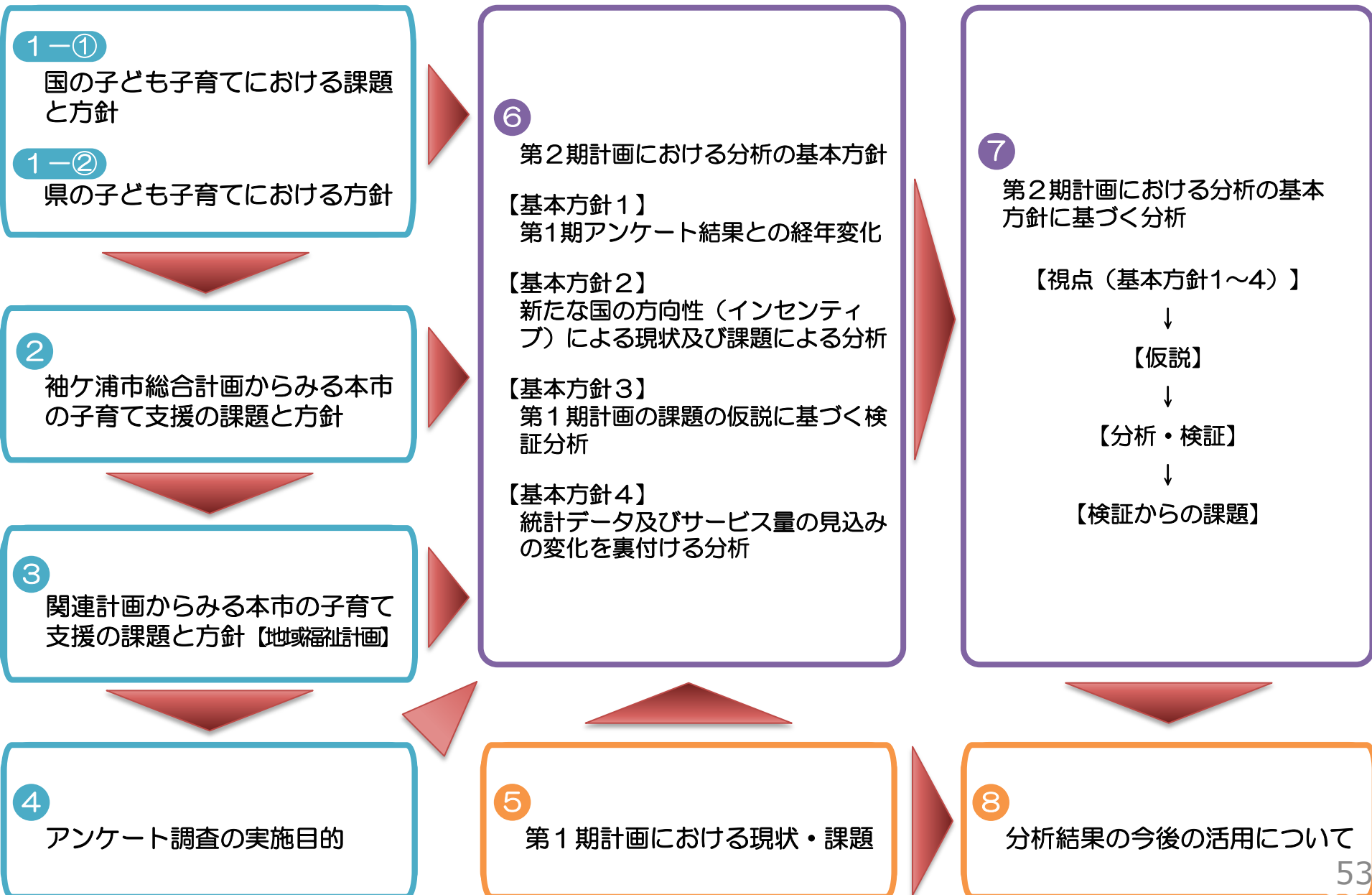
問38 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを特に期待しますか。
(あてはまる番号5つまでに○)

「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」の割合が53.3%と最も高く、次いで「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」、「小児救急医療体制の充実」の割合が45.0%となっています。

回答者数 = 531



第2期子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査 分析に関する考え方



- 保育ニーズに応じた対策による待機児童ゼロの維持
- 子どもの居場所としての放課後児童健全育成事業の充実
- 国の幼児教育の無償化を見据え、ニーズ量が増えることが考えられ、ニーズ量の確保及び人材の確保が重要
- 産後ケア等、子育て家庭が孤立化しないようにすることが大切
- 子育て世代包括支援センターを一層活用し、結婚・妊娠・出産・子育て・子育ての切れ目のない支援を行っていくことが重要

【基本理念】

子どもは地域の宝 すべての子どもと子育て家庭の育ち
を地域のみんなで支える

【基本的視点】

- 子ども・若者
- 親（出産・育児・家事・仕事）
- 地域

- 少子化の中にあっても保育所の利用者は増加傾向を示しており、今後も基本となる保育所利用者の増加や新たな保育ニーズの把握と対応に努める必要がある。
- 地域の子育てサポート機能も低下しており子育て援助の仕組みづくりが求められる。
- 放課後児童クラブ、児童虐待においてさらなる体制整備が必要。

- ・ ボランティア育成・活動体制などの整備促進
- ・ 地域の交流の場づくり
- ・ 相談体制の整備・充実

4 アンケート調査の実施目的

子ども・子育て支援事業計画策定のための基礎資料とするためのアンケートによるニーズ調査を実施し、調査結果の分析からニーズの分析・推計を行い、ニーズ調査報告書を作成し、第2期計画の策定を行っていくことを目的とする。

- ・就労意向をもつ母親が増加し、教育・保育サービスを始めとした多様なニーズがあり、多様な保育需要に対応する必要がある。
- ・放課後の過ごし方の希望を見ると、放課後児童クラブが3割となっており、安全・安心な居場所づくりを推進していく必要がある。
- ・「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が最も高く、制度が周知されていない。
- ・育児休業から「希望」より、早く復帰した理由を見ると、母親は、「希望する保育所に入るため」が3割を超えている。
- ・「子どもに係る事故や犯罪が少なくなったと感じる割合」が低下している。

第2期計画を策定するにあたり、アンケート調査より、市の子ども・子育てに関する現状や課題の把握及びニーズの把握を行っていくため、下記の4つの基本方針のもと、分析を行っていきます。

- 【基本方針1】 第1期アンケート結果との経年変化
- 【基本方針2】 新たな国の方向性（インセンティブ）による現状及び課題による分析
- 【基本方針3】 第1期計画の課題の仮説に基づく検証分析
- 【基本方針4】 統計データ及びサービス量の見込みの変化を裏付ける分析

【基本方針1】**第1期アンケート結果との経年変化**

- ①経年比較から現状や課題を把握する必要のある項目について分析を行う。
- ②経年比較から、大きな差のある項目について、その原因を探るための分析を行う。

【基本方針2】

新たな国の方向性（インセンティブ）による現状及び課題による分析

- ①待機児童ゼロを維持するための分析
- ②放課後児童健全育成事業を充実していくための分析
- ③幼児教育の無償化を見据えたニーズ量の確保及び人材確保のための分析
- ④子育て家庭の孤立化を防止していくための分析
- ⑤子どもの貧困問題への対応の分析

【基本方針3】**第1期計画の課題の仮説に基づく検証分析**

- ①第1期計画の現状・課題において、本アンケート調査から現在の状況を分析していく。
- ②分析を行っていくにあたって、第1期計画の課題の仮説を設定し、その仮説を検証していくための分析を行う。

【基本方針4】

統計データ及びサービス量の見込みの変化を裏付ける分析

- ①子ども・子育てに関する統計データにおける変化の原因を検証するための分析
- ②第1期計画で算出したサービス量の見込値と、サービスの実績値に差のあるものについての原因を分析していく。

【視点（基本方針1～4）】



【視点・仮説】



【分析・検証】



【検証からの課題】

視点 【基本方針1】 第1期アンケート結果との経年変化

視点・仮説

- ①全国的に少子化が問題となっていることから、子どもの人数を経年比較
- ②保護者の働き方が変化している中で、子育てを主に行っている人を経年比較
- ③保護者の働き方の変化や社会との関わりの変化によって、子どもをみてもらえる親族・知人についての経年比較
- ④働き方の変化や社会環境や制度の変化により、幼稚園・保育所・認定こども園等の利用状況の変化について経年比較
- ⑤働き方の変化や社会環境や制度の変化により、幼稚園・保育所・認定こども園等の今後の利用希望について経年比較

分析・検証

分析項目 クロス分析

- ①問3（お子さんの人数）
- ②問6（子育てを主に行っている人）
- ③問9（子どもをみてもらえる親族・知人の有無）
- ④問14（幼稚園・保育所・認定こども園等の利用状況）
- ⑤問15（定期的に利用したいサービス）

検証からの課題

※問○：就学前児童、小学生の両者ともに分析
問○：就学前児童のみ分析 問○：小学生のみ分析

視点 【基本方針2】 新たな国の方向性による現状及び課題による分析

視点・仮説

- ①働き方の変化や子育てに関する社会的変化により、育児休業の取得状況の変化を把握
- ②育児休業を取得しなかった理由の変化を把握
- ③子どもの居場所としての放課後児童健全育成事業の充実を進めており、市においての「放課後児童クラブ」等の利用状況を把握
- ④子どもの居場所としての放課後児童健全育成事業の充実を進めており、市においての「放課後児童クラブ」の今後の利用意向の把握
- ⑤貧困世帯が必要としている支援制度を把握

分析・検証

分析項目 クロス分析

- ①問32（育児休業の取得状況）
（経年比較による分析）
- ②問32（育児休業を取得しなかった理由）（経年比較による分析）
- ③問19（放課後児童クラブの利用）
×問2（子どもの生年月日）、
問11（1）（母親の就労状況）
- ④問25、26（放課後の過ごし方について）（経年比較による分析）
- ⑤問37（支援制度等の利用意向）×
問33、35（一定以下の所得の家庭）

検証からの課題

※問○：就学前児童、小学生の両者ともに分析

問○：就学前児童のみ分析 問○：小学生のみ分析

視点 【基本方針3】 第1期計画の課題の仮説に基づく検証分析

視点・仮説

①母親の就労状況や同居の家族、子どもをみ
てくれる親族・友人の有無によって、利用
したい保育サービスに違いがある。

②育児休業の利用状況の変化と希望に対する
実際の復帰の状況を把握。

分析・検証

分析項目 クロス分析

①問18C (問14C) × 問2 (子ども
の生年月日)

問9 (子どもをみてもらえる親族・
知人の有無)

問11 (1) (母親の就労状況)

②問32-4 (職場復帰した時期) (経
年比較による分析)

問32-6 (希望の時期に職場復帰し
なかった理由) (経年比較
による分析)

検証からの課題

※問○: 就学前児童、小学生の両者ともに分析

問○: 就学前児童のみ分析 問○: 小学生のみ分析

視点【基本方針4】統計データ及びサービス量の見込みの変化を裏付ける分析

視点・仮説

- ①女性の働き方（M字カーブ）が変化している中で、現在の母親の働き方をアンケート調査から現状を把握
- ②今後の母親の働き方をアンケート調査から把握
- ③幼稚園・保育所・認定こども園等の利用状況していない内容の変化を把握
- ④年齢や母親の就労状況による幼稚園・保育所・認定こども園等の利用状況していない内容の変化を把握
- ⑤子どもの年齢による施設・サービスの利用状況を把握
- ⑥施設サービスの実施場所による施設サービスの利用状況を把握
- ⑦子どもの年齢や母親の就労状況及び就労希望による施設・サービスの今後の利用希望を把握
- ⑧子どもの年齢や母親の就労状況による病気時の事業利用を把握
- ⑨子どもの年齢や母親の就労状況による病気時に事業を利用できなかったことを把握
- ⑩子どもの年齢や母親の就労状況による病後児施設の利用希望を把握
- ⑪子どもの年齢や母親の就労状況による一時預かり事業の利用状況を把握

分析・検証

分析項目 クロス分析

- ①問11（1）、（1）-1、（1）-2（経年比較による分析）
- ②問13（就労希望）（経年比較による分析）
- ③問14-5（施設やサービスを利用していない理由）
（経年比較による分析）
- ④問14-5（施設やサービスを利用していない理由）×
問2（子どもの生年月日）
問11（1）（母親の就労状況）
- ⑤問14-1（施設・サービスの利用状況）×問2（子どもの生年月日）
- ⑥問14-1（施設・サービスの利用状況）×問14-3（現在利用している場所）
- ⑦問15（定期的に利用したいサービス）×問2（子どもの生年月日）
問11（1）（母親の就労状況）
問13（就労希望）
- ⑧問21（病時のサービスの利用状況）×問2（子どもの生年月日）
問11（1）（母親の就労状況）
- ⑨問21-1（病時に利用できなかった理由）×問2（子どもの生年月日）
問11（1）（母親の就労状況）
- ⑩問21-3（病後児施設の利用希望）×問2（子どもの生年月日）
問11（1）（母親の就労状況）
- ⑪問22（一時預かり事業の利用状況）×問2（子どもの生年月日）
問11（1）（母親の就労状況）

※問○：就学前児童、小学生の両者ともに分析

問○：就学前児童のみ分析 問○：小学生のみ分析

本アンケート調査結果の分析から、サービスの見込み量を算出するとともに、本市の現状や課題を明確に把握していきます。

把握した現状や課題については、第2期計画の方向性及び今後の事業展開を検討していくために活用していきます。

質疑

袖ヶ浦市子ども・子育て支援に関するアンケート (就学前児童保護者対象)

《アンケートご協力についてのお願い》

皆様には日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

袖ヶ浦市では現在、教育・保育・子育て支援の方向性を定めた「袖ヶ浦市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援施策を推進しています。

2020年3月をもって計画の期間が終了するため、次期計画策定にあたり、子どもの保護者を対象として、「アンケート調査」を実施させていただきます。

この調査は、小学校入学前のお子さんの保護者を対象として無作為に選び、送付しております。調査の結果は、本市の子ども・子育て支援施策の検討に利用させていただくため、ぜひ「ありのまま」のご意見をお聞かせください。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

ご回答いただいた調査内容は、回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

調査項目が多く、お忙しい中誠に恐縮ですがご協力をお願いいたします。

平成30年10月

袖ヶ浦市長 出口 清

※ご記入にあたってのお願い

- ①特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
- ②アンケートには、できる限り保護者の方がご記入ください。
- ③この調査は無記名ですので、調査票に回答した方のお名前の記入は必要ありません。
- ④ご回答は、選択肢に“○”を付けてお選びいただく場合と、数字などを具体的にご記入いただく場合がございます。
- ⑤回答した選択肢によっては、一部の方だけに答えていただく質問もあります。その場合は（ ）内の説明文、矢印⇒に従ってお答えください。
- ⑥“○”をつける数については、“（あてはまる番号1つに○）”、“（あてはまる番号すべてに○）”などの案内がありますので、設問ごとの案内にしたがってください。
※選択肢「その他」に“○”をした場合、具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
- ⑦ご記入がすみましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

11月20日（火）までにポストにご投函ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

袖ヶ浦市 福祉部 子育て支援課
電話：(0438) 62-3286

お子さんとお家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------------------|---------|------------|
| 1. 昭和地区 | 2. 蔵波地区 | 3. 長浦地区 |
| 4. 根形地区 | 5. 平岡地区 | 6. 中川・富岡地区 |
| 7. その他(不明の場合大字を記入下さい) | | |

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。 ※(□内に数字でご記入ください)

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字で記入してください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他() |
|----------|---------|---------|----------|-----------|

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他() | | |

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他（ | ） | |

問 9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問 10-1 へ | 2. いない／ない ⇒ 問 11 へ |
|----------------------------|---------------------------|

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|---------------|--|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他 | <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> [【例】ベビーシッター] </div> |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

※問 11～13 は、父親・母親それぞれについてお答えください。（ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。）

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

父親（当てはまる番号1つに○）	母親（当てはまる番号1つに○）
1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

問 11-1 問 11 で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、口内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。

父 親	母 親
1 週当たり 日 1 日当たり 時間	1 週当たり 日 1 日当たり 時間

問 11-2 問 11 で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。

※就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。

父 親	母 親
家を出る時刻 時	家を出る時刻 時
帰宅する時刻 時	帰宅する時刻 時

問12 問11で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

⇒該当しない方は、問13へ

フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

父 親	母 親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問13 問11で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問14へ

就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○）

※該当する口内には数字をご記入ください。

父 親	母 親
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ① フルタイム （1週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パートタイム・アルバイト等（①以外） →週 日 1日 時間	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ① フルタイム （1週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パートタイム・アルバイト等（①以外） →週 日 1日 時間

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問14-1に示した事業が含まれます。

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。
(あてはまる番号1つに○)

問 14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（

問 14-5 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

※「8.」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字でご記入ください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（

）

問 15 すべての方にうかがいます。

政府は、来年１０月からの消費税率引き上げの時期に合わせて、３歳から５歳までの子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料の無償化を目指しています。また、０歳から２歳までの住民税非課税世帯の子どもについても同様です。現在、利用している、利用していないにかかわらず、今後、宛名のお子さんについて、平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|---|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
幼稚園によって異なります。 |
| 3. 認可保育所（園）（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの） |
| 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） |
| 5. 小規模な保育施設（市の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの） |
| 6. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業） |
| 7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設が設ける地域住民の子どもの受け入れ枠） |
| 8. その他認可外の保育施設 |
| 9. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| 10. ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 11. その他（ |

問 15-1 問 15 で回答した事業を選んだ理由をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|---------------------------------|
| 1. 教育・保育の内容が充実しているから |
| 2. 自宅の近くにあって便利だから |
| 3. 自宅と同じ小学校区だから |
| 4. 多くの友人の子どもが通っているから |
| 5. 利用できる時間が家庭の事情にあっているから |
| 6. 行事やお弁当など、保護者の負担が少なそうだから |
| 7. 保育料は無償になるとしても、その他の実費の負担が重いから |
| 8. 毎日の利用までは必要ないから |
| 9. 大人数で保育を受けることに抵抗があるから |
| 10. 事業所の雰囲気が好きだから |
| 11. 金銭以外の事情で、施設の利用が難しいから |
| 12. 利用したい施設に入れそうにないから |
| 13. その他（ |

問 15-2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------|---------|------------|
| 1. 昭和地区 | 2. 蔵波地区 | 3. 長浦地区 |
| 4. 根形地区 | 5. 平岡地区 | 6. 中川・富岡地区 |
| 7. 他の市区町村 | | |

問 15-3 問 15 で「1. 幼稚園」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒ 該当しない方は、問 16 へ
特に幼稚園の利用を強く希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

**宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の
利用状況についてうかがいます。**

問 16 宛名のお子さんと一緒に、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談を
したり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用してい
ますか。(次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。)

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

1 週当たり □ 回 もしくは 1 ヶ月当たり □ 回 程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名： □ ）

1 週当たり □ 回 もしくは 1 ヶ月当たり □ 回 程度

3. 利用していない

問 17 問 16 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あ
るいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号1つに○)

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが利用したい

1 週当たり □ 回 もしくは 1 ヶ月当たり □ 回 程度

2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい

1 週当たり 更に □ 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に □ 回 程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

※①～⑩の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育て世代総合サポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦すくすく子育てブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧子育てポータルサイト（はっぴーネット）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨そでがうらこども館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩産前産後ヘルパー派遣事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

土曜日	日曜・祝日
1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで

問 19-1 問 19 で、「3. 月に 1 ～ 2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

問 20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。(例) 08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 利用する必要はない | 利用したい時間帯
⇨ □ 時から □ 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問 20-1 問 20 で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 21 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方(問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。 ⇒ **利用されていない方は、問 22 へ**

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | | |
|--------|------------|---------|----------|
| 1. あった | ⇒ 問 21-1 へ | 2. なかった | ⇒ 問 22 へ |
|--------|------------|---------|----------|

問 21-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)
※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日と数えます)

1年間の対処方法	日数
1. 父親が仕事を休んでみた	日
2. 母親が仕事を休んでみた	日
3. 就労していない保護者がみた	日
4. 病児・病後児の保育を利用した	日
5. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
7. ファミリーサポートセンターを利用した	日
8. その他 ()	日

問 21-2 問 21-1 で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

(あてはまる番号1つに○)

※日数についても□内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ | <input type="text"/> 日 ⇒ 問21-3へ |
| 2. 利用したいとは思わない | ⇒ 問21-4へ |

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 22 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
3. ファミリーサポートセンター （地域住民が子どもを預かる事業）	日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日
5. ベビーシッター	日
6. その他（ ）	日
7. 利用していない	

問 22-1 問 22 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）	

問 23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用
する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。

(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。

1. 利用したい	計 日
① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	日
③ 不定期の就労	日
④ その他（ ）	日
2. 利用する必要はない ⇒ 問24へ	

問 23-1 問 23 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 23 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）
4. その他（ ）

問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	① （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	泊
	② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	③ ②以外の保育事業 （認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	⑥ その他（ ）	泊
2. なかった		

問 24-1 問 24 で「1. あった ① （同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 ⇒ 「1. 以外」を選択した方は、問 25 へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

宛名のお子さんが5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 32 へ

問 25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週あたり日数を□内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料〔利用料：13,000 円〕がかかります。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1. 自宅 | 週 <input type="text"/> 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 <input type="text"/> 日くらい |
| 3. 塾や習い事
（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週 <input type="text"/> 日くらい |
| 4. 児童館 | 週 <input type="text"/> 日くらい |
| 5. 放課後子ども教室※1 | 週 <input type="text"/> 日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ（学童保育） | 週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで |
| 7. ファミリーサポートセンター | 週 <input type="text"/> 日くらい |
| 8. その他（公民館、公園など） | 週 <input type="text"/> 日くらい |

※1 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。袖ヶ浦市では現在、月 2～3 回程度、木曜日の放課後に実施しています。

問 26 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 塾や習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 日くらい → 下校時から 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問 27 問 25 または問 26 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。

（それぞれについて、あてはまる番号１つに○）

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。（例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

土曜日	日曜・祝日
1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい
1. 2 の利用したい時間帯 時から 時まで	1. 2 の利用したい時間帯 時から 時まで
3. 利用する必要はない	3. 利用する必要はない

問 28 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（あてはまる番号１つに○）

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。（例）08 時～18 時 のように 24 時間制でご記入ください。

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 29 問 25 または問 26 で「5. 放課後子ども教室」と「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の両方に○をつけた方にうかがいます。

放課後児童クラブ（学童保育）を希望しながら、放課後子ども教室の利用を希望する理由は次のうちどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 放課後児童クラブ（学童保育）が利用できない時に利用したいから
2. 放課後子ども教室を友だちが利用しているから
3. 放課後子ども教室の活動内容に興味があるから
4. 地域の人とふれ合うことで、地域とつながりができるから
5. 子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できるから
6. 自由に遊べるから
7. その他（

）

問 30 宛名のお子さんの放課後に必要と思うものは次のうちどれですか（あてはまる番号3つまでに○）

1. 大人の見守りによる安全・安心な居場所
2. 学びのきっかけとなる体験活動（スポーツや文化芸術活動など）
3. 将来の職業の参考になる体験活動
4. 自由遊び
5. 宿題の支援
6. 学力を高めるための学習支援（算数や英語など。宿題は除く）
7. 運動系の習い事
8. 音楽系の習い事
9. その他（

）

問 31 放課後子ども教室や放課後児童クラブ（学童保育）に期待することは何ですか。

（あてはまる番号3つまでに○）

1. 安全・安心な居場所であること
2. 安心して預けられるスタッフの見守りがあること
3. 子どもが、多くの友達や異なる学年の子どもと交流できること
4. 子どもが、工作・料理・スポーツなどのいろいろな体験活動に参加できること
5. 子どもや保護者が、地域の人とふれ合うことで、地域とつながりができること
6. 子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できること
7. 子どもが、あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強（宿題等）の習慣を身につけることができること
8. 保護者が、安心して仕事などの時間の確保をできること
9. 経済的負担が少ないこと
10. その他（

）

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※取得していない方はその理由をご記入ください。

父親（いずれかに○）	母親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他 父親()
母親()

問 32-1 子どもが原則 1 歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 ヶ月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

(あてはまる番号 1 つに○)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 33 へ

問 32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

父 親	母 親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらか 1 つに○）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」と回答してください。

父 親	母 親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問 32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

父 親	母 親
実際の取得期間 □ 歳 □ ヶ月 希望 □ 歳 □ ヶ月	実際の取得期間 □ 歳 □ ヶ月 希望 □ 歳 □ ヶ月

問 32-5 お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

父 親	母 親
□ 歳 □ ヶ月	□ 歳 □ ヶ月

問 32-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方（あてはまる番号すべてに○）

父 親	母 親
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

(2)「希望」より遅く復帰した方（あてはまる番号すべてに○）

父 親	母 親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 （ ）	6. その他 （ ）

問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

（あてはまる番号 1 つに○）

父 親	母 親
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 32-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 32-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

(1) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 32-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 32-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(あてはまる番号1つに○)

父 親	母 親
1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1 歳になる前に復帰したい	1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1 歳になる前に復帰したい

子育て家庭の暮らし向きについてうかがいます。

問 33 宛名のお子さんと同居している方の人数をご記入ください。単身赴任をしている家族も含めてください。

同居している方 人

問 34 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 |
| 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい | |

問 35 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入(年間のボーナス含む手取り額)」を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|
| 1. 0円 | 2. 1～50万円未満 | 3. 50～100万円未満 |
| 4. 100～200万円未満 | 5. 200～300万円未満 | 6. 300～400万円未満 |
| 7. 400～500万円未満 | 8. 500～600万円未満 | 9. 600～700万円未満 |
| 10. 700～800万円未満 | 11. 800～900万円未満 | 12. 900～1,000万円未満 |
| 13. 1,000万円以上 | 14. 不明 | |

問 36 あなたの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由での月々の料金の支払い、家賃、その他の債務の返済ができないことがありましたか。(あてはまる番号それぞれ1つに○)

	あった	なかった	該当しない
A. 電気料金	1	2	3
B. ガス料金	1	2	3
C. 水道料金	1	2	3
D. 電話料金	1	2	3
E. 家賃	1	2	3
F. その他	1	2	3

問 37 あなたの世帯では現在、どのような支援制度等を利用することに興味がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 子育て短期支援事業(ショートステイ)
2. ファミリーサポートセンター
3. 子ども食堂
4. フードバンクによる食料支援
5. 学校が実施する学習支援
6. 子どもの学習支援
7. その他(|) |
|---|---|

袖ヶ浦市子ども・子育て支援に関するアンケート (小学生保護者対象)

《アンケートご協力についてのお願い》

皆様には日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

袖ヶ浦市では現在、教育・保育・子育て支援の方向性を定めた「袖ヶ浦市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援施策を推進しています。

2020年3月をもって計画の期間が終了するため、次期計画策定にあたり、子どもの保護者を対象として、「アンケート調査」を実施させていただきます。

この調査は、小学生のお子さんの保護者を対象として無作為に選び、送付しております。調査の結果は、本市の子ども・子育て支援施策の検討に利用させていただくため、ぜひ「ありのまま」のご意見をお聞かせください。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご回答いただいた調査内容は、回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

調査項目が多く、お忙しい中誠に恐縮ですがご協力をお願いいたします。

平成30年10月

袖ヶ浦市長 出口 清

※ご記入にあたってのお願い

- ①特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
- ②アンケートには、できる限り保護者の方がご記入ください。
- ③この調査は無記名ですので、調査票に回答した方のお名前の記入は必要ありません。
- ④ご回答は、選択肢に“○”を付けてお選びいただく場合と、数字などを具体的にご記入いただく場合がございます。
- ⑤回答した選択肢によっては、一部の方だけに答えていただく質問もあります。その場合は（ ）内の説明文、矢印⇒に従ってお答えください。
- ⑥“○”をつける数については、“（あてはまる番号1つに○）”、“（あてはまる番号すべてに○）”などの案内がありますので、設問ごとの案内にしたがってください。
※選択肢「その他」に“○”をした場合、具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
- ⑦ご記入がすみましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

11月20日（火）までにポストにご投函ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

袖ヶ浦市 福祉部 子育て支援課
電話：(0438) 62-3286

お子さんとお家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------------------|---------|------------|
| 1. 昭和地区 | 2. 蔵波地区 | 3. 長浦地区 |
| 4. 根形地区 | 5. 平岡地区 | 6. 中川・富岡地区 |
| 7. その他（不明の場合大字を記入下さい） | | |

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。 ※（□内に数字でご記入ください）

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字で記入してください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|--------------------------------|

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|--------------------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） |
|----------|---------|---------|----------|--------------------------------|

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | | | | |
|----------|-----------|--------------------------------|--------|--------|--|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ ） | | | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

※問 11～13 は、父親・母親それぞれについてお答えください。（ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。）

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

父親(当てはまる番号 <u>1</u> つに○)	母親(当てはまる番号 <u>1</u> つに○)
1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

問 11-1 問 11 で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、口内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。

父 親	母 親
1 週当たり 日 1 日当たり 時間	1 週当たり 日 1 日当たり 時間

問 11-2 問 11 で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。

※就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。

父 親	母 親
家を出る時刻 時	家を出る時刻 時
帰宅する時刻 時	帰宅する時刻 時

問12 問11で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
⇒該当しない方は、問13へ

フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

父 親	母 親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問13 問11で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問14へ

就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○）

※該当する口内には数字をご記入ください。

父 親	母 親
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ① フルタイム （1週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パートタイム・アルバイト等（①以外） →週 日 1日 時間	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ① フルタイム （1週5日程度・1日8時間程度の就労） ② パートタイム・アルバイト等（①以外） →週 日 1日 時間

**宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の
利用状況についてうかがいます。**

問 14 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

※①～⑦の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④子育て世代総合サポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤すくすく子育てブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育てポータルサイト(はっぴーネット)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦そでがうらこども館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問 15 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. あった ⇒ 問 15-1 へ	2. なかった ⇒ 問 16 へ
--	---------------------------------------

問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この 1 年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も 1 日と数えます)

1 年間の対処方法	日数
1. 父親が仕事を休んでみた	日
2. 母親が仕事を休んでみた	日
3. 就労していない保護者がみた	日
4. 病児・病後児の保育を利用した	日
5. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
7. ファミリーサポートセンターを利用した	日
8. その他 ()	日

問 15-2 問 15-1 で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

(あてはまる番号 1 つ に○)

※日数についても□内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ | <input type="text"/> 日 ⇒ 問 15-3 へ |
| 2. 利用したいとは思わない | ⇒ 問 15-4 へ |

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等） 4. その他（ ）
--

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよい	
4. 利用料がかかる・高い	5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する	7. その他（ ）

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日 ⇒ 問 16 へ

2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 15-6 へ

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他（ ）

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 16 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は
あります。か。(あてはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. ファミリーサポートセンター （地域住民が子どもを預かる事業）	日
2. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日
3. ベビーシッター	日
4. その他（ ）	日
5. 利用していない	

問 17へ

▶問 16-1 問 16 で「5. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）	

問17 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用
する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。

(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。

1. 利用したい	計		} 問 17-1 へ
① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的			
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等			
③ 不定期の就労			
④ その他（ ）			
2. 利用する必要はない ⇒ 問 18 へ			

問 17-1 問 17 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 17 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）
4. その他（ ）

問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	① （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	泊
	② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	③ ②以外の保育事業 （認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	⑥ その他（ ）	泊
2. なかった		

問 18-1 問 18 で「1. あった ① （同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 ⇒ 「1. 以外」を選択した方は、問 19 へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

宛名のお子さんの放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

問 19 宛名のお子さんは放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問 19-1 問 19 で「1. 利用している」と回答した方に質問します。

放課後児童クラブ（学童保育）を利用しない日はどのように過ごしていますか。主な過ごし方を 2 つまで記入してください。

- | | |
|---|---|
| 1. 家族などの大人と過ごしている
2. 友達や兄弟姉妹と過ごしている
3. ひとりで過ごしている
4. 習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）に通っている
5. その他（ |) |
|---|---|

問 19-2 問 19 で「2. 利用していない」と回答した方に質問します。

お子さんは、放課後は主にどこで過ごしていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 自宅
3. 友達・知人の家
5. 公園・図書館などの公共施設
7. その他（ | 2. 祖父母・親戚の家
4. 民間の預かりサービス
6. 塾や習い事
) |
|--|---|

問 20 お子さんは放課後子ども教室※に登録していますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 登録している | 2. 登録していない |
|-----------|------------|

※ 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。袖ヶ浦市では現在、月 2～3 回程度、木曜日の放課後に実施しています。

問 20-1 問 20 で「1. 登録している」と回答した方に質問します。

お子さんは放課後子ども教室にどのくらい参加していますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. ほぼ毎回、参加している | 2. 2 回に 1 回程度、参加している |
| 3. ごくまれに、参加している | 4. ほとんど参加していない |

問 20-2 問 20 で「2. 登録していない」と回答した方に質問します。

登録しない理由は次のうちどれですか。（あてはまる番号 3 つまでに○）

- | | |
|---|---|
| 1. お子さんが行きたがらないから
2. 友だちが利用していないから
3. 塾や習い事をしているから
4. 一人で（自宅等に）居られるから
5. 保護者が家に居るため参加する必要があるから
6. 保護者の手伝い（子どもたちの見守り、お迎え等）が必須だから
7. 活動内容に興味のあるものがないから
8. 放課後は放課後児童クラブ（学童保育）に行くから
9. 学年の制限があり参加できないから
10. 放課後子ども教室が活動していることを知らないから
11. その他（ |) |
|---|---|

問 21 放課後子ども教室や放課後児童クラブ（学童保育）の満足度はどのくらいですか。
（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|------------|----------------|
| 1. かなり満足 | 2. やや満足 |
| 3. どちらでもない | 4. やや不満 |
| 5. かなり不満 | 6. どちらも利用していない |

問 22 放課後子ども教室や放課後児童クラブ（学童保育）のよいところは何ですか。
（あてはまる番号3つまでに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 小学校内（または近隣）にあり、安全・安心な場所である | |
| 2. スタッフが見守ってくれるので安心して預けられる | |
| 3. 子どもが、多くの友達や異なる学年の子どもと交流できる | |
| 4. 子どもが、工作・料理・スポーツなどのいろいろな体験活動に参加できる | |
| 5. 子どもや保護者が、地域の人とふれ合うことで、地域とつながりができる | |
| 6. 子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できる | |
| 7. 子どもが、あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強（宿題等）の習慣を身につけることができる | |
| 8. 保護者が、安心して仕事や自分の時間の確保をすることができる | |
| 9. 経済的負担（保険料・利用料など）が少ない | |
| 10. その他（ | ） |
| 11. わからない | |

問 23 放課後子ども教室や放課後児童クラブ（学童保育）の問題点は何ですか。
（あてはまる番号3つまでに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない | |
| 2. 運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない | |
| 3. 体験活動の実施される回数が少ない | |
| 4. 子どもが望むような体験活動が少ない | |
| 5. 決められた体験活動が多く、子どもが自由に過ごせない | |
| 6. 高学年の子どもが、参加しやすい（参加したくなる）活動が少ない | |
| 7. 運営スタッフの目が十分に行き届いていない | |
| 8. 運営スタッフと、子どもへの対応の仕方や子育てについての考え方が合わない | |
| 9. 開設時間が短い | |
| 10. 経済的負担（保険料・利用料など）がかかり過ぎる | |
| 11. その他（ | ） |
| 12. わからない | |

問 24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。
保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料〔利用料：13,000 円〕がかかります。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 塾や習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 日くらい → 下校時から 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問 25 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 塾や習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 日くらい → 下校時から 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問 26 問 24 または問 25 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。

（それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。（例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

土曜日	日曜・祝日
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
1. 2 の利用したい時間帯	1. 2 の利用したい時間帯
□ 時から □ 時まで	□ 時から □ 時まで
3. 利用する必要はない	3. 利用する必要はない

問 27 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。（例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	
	□ 時から □ 時まで

問 28 問 24 または問 25 で「5. 放課後子ども教室」と「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の両方に○をつけた方にうかがいます。

放課後児童クラブ（学童保育）を希望しながら、放課後子ども教室の利用を希望する理由は次のうちどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 放課後児童クラブ（学童保育）が利用できない時に利用したいから
2. 放課後子ども教室を友だちが利用しているから
3. 放課後子ども教室の活動内容に興味があるから
4. 地域の人とふれ合うことで、地域とつながりができるから
5. 子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できるから
6. 自由に遊べるから
7. その他（ ）

問 29 お子さんの放課後に必要と思うものは次のうちどれですか（あてはまる番号3つまでに○）

1. 大人の見守りによる安全・安心な居場所
2. 学びのきっかけとなる体験活動（スポーツや文化芸術活動など）
3. 将来の職業の参考になる体験活動
4. 自由遊び
5. 宿題の支援
6. 学力を高めるための学習支援（算数や英語など。宿題は除く）
7. 運動系の習い事
8. 音楽系の習い事
9. その他（ ）

(あてはまる番号3つまでに○)

10. その他 ()

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

(母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※取得していない方はその理由をご記入ください。

父親（いずれかに○）	母親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他 父親()
母親()

問 31-1 子どもが原則 1 歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 ヶ月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。
(あてはまる番号 1 つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問 31 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 32 へ

問 31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(あてはまる番号 1 つに○)

父 親	母 親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 31-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(どちらか 1 つに○)

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」と回答してください。

父 親	母 親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問 31-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

父 親	母 親
実際の取得期間 □ 歳 □ ヶ月 希望 □ 歳 □ ヶ月	実際の取得期間 □ 歳 □ ヶ月 希望 □ 歳 □ ヶ月

問 31-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

父 親	母 親
□ 歳 □ ヶ月	□ 歳 □ ヶ月

問 31-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

父 親	母 親
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

父 親	母 親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみってくれる人がいなかったため	5. 子どもをみってくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(あてはまる番号1つに○)

父 親	母 親
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)

問 31-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 31-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

(1) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 31-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 31-9 宛名のお子さんが１歳になったときに必ず預けられる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。

(あてはまる番号1つに○)

父 親	母 親
1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1 歳になる前に復帰したい	2. 1 歳になる前に復帰したい

子育て家庭の暮らし向きについてうかがいます。

問 32 宛名のお子さんと同居している方の人数をご記入ください。単身赴任をしている家族も含めてください。

同居している方 人

問 33 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 |
| 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい | |

問 34 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入(年間のボーナス含む手取り額)」を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|
| 1. 0円 | 2. 1～50万円未満 | 3. 50～100万円未満 |
| 4. 100～200万円未満 | 5. 200～300万円未満 | 6. 300～400万円未満 |
| 7. 400～500万円未満 | 8. 500～600万円未満 | 9. 600～700万円未満 |
| 10. 700～800万円未満 | 11. 800～900万円未満 | 12. 900～1,000万円未満 |
| 13. 1,000万円以上 | 14. 不明 | |

問 35 あなたの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由での月々の料金の支払い、家賃、その他の債務の返済ができないことがありましたか。(あてはまる番号それぞれ1つに○)

	あった	なかった	該当しない
A. 電気料金	1	2	3
B. ガス料金	1	2	3
C. 水道料金	1	2	3
D. 電話料金	1	2	3
E. 家賃	1	2	3
F. その他	1	2	3

問 36 あなたの世帯では現在、どのような支援制度等を利用することに興味がありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 子育て短期支援事業(ショートステイ)
2. ファミリーサポートセンター
3. 子ども食堂
4. フードバンクによる食料支援
5. 学校が実施する学習支援
6. 子どもの学習支援
7. その他(|) |
|---|---|

問 37 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

問 38 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを特に期待しますか。
(あてはまる番号5つまでに○)

問 39 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒（切手は貼らず）に入れ、11月20日（火）までに
郵便ポストへご投函ください。

3 議 題

(2) 放課後児童クラブの整備状況について

袖ヶ浦市放課後児童クラブ会館の新たな施設整備

○放課後児童クラブの設置目的

放課後児童クラブは、小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して、放課後等に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図ることを目的とします。

○平成30年度の整備施設

- ・ 昭和放課後児童クラブ（昭和地区）
- ・ 根形放課後児童クラブ（根形地区）

○整備のポイント

放課後子ども総合プランの推進を踏まえ、学校敷地内において整備。

施設の整備概要

	昭和地区	根形地区
運営者 (指定管理者)	NPO法人 キッズパレット	社会福祉法人 袖ヶ浦市社会福祉協議会
名称	袖ヶ浦市放課後児童クラブ会館 昭和放課後児童クラブ	袖ヶ浦市放課後児童クラブ会館 根形放課後児童クラブ
所在地	袖ヶ浦市坂戸市場1431番地 (昭和小学校敷地内)	袖ヶ浦市三ツ作761番地 (根形小学校敷地内)
施設概要	軽量鉄骨造平屋建 建築面積 約180㎡	軽量鉄骨造平屋建 建築面積 約150㎡
定 員	70名	60名
整備 スケジュール	工事期間 平成30年10月～平成31年2月 開設予定日 平成31年4月1日	工事期間 平成30年10月～平成31年3月 開設予定日 平成31年4月1日

昭和放課後児童クラブ 1月22日撮影



根形放課後児童クラブ 1月11日撮影



質疑

袖ヶ浦市子育て応援プラン

(子ども・子育て支援事業計画)

平成30年3月 一部変更

袖ヶ浦市

③放課後児童クラブの平成31年度に達成されるべき目標事業量

○ニーズ量（全体と地区別）

（月当たりの実利用者数:人）	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
■低学年（1～3年生）ニーズ量（A）	401	387	455	466	483
■高学年（4～6年生）ニーズ量（A'）	185	189	180	210	223
ニーズ量 全体（A+A'）	586	576	635	676	706
昭和地区	155	153	222	230	244
長浦地区	316	311	278	295	308
根形地区	39	38	44	51	52
平川地区	76	74	91	100	102

○ニーズ量と確保方策

（月当たりの実利用者数:人）	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
ニーズ量 全体（A+A'）	586	576	635	676	706
確保方策・提供量（B）	550	560	695	710	745
昭和地区	145	149	210	210	235
長浦地区	297	302	355	355	355
根形地区	37	37	50	50	60
平川地区	71	72	80	95	95
差（B-（A+A'））	△36	△16	60	34	39

④確保方策について

放課後児童健全育成事業については、市内の小学校区ごとに実施されています。低学年と高学年を合わせた全体のニーズについては急激ではないものの増加傾向が見られます。

今後の確保方策としては、平成28年度に蔵波小学校区に開設した放課後児童クラブに加え、増加するニーズ等に対応するためさらなる施設整備を見込み平成31年度は745人とします。併せて、放課後児童クラブの利用申込みに対し適切に対応できる環境を整えるため、各クラブ間の連携に努めます。

また、今後の施設整備については、学校施設の活用や放課後子ども総合プランの推進を踏まえた総合的な観点から検討します。

放課後子ども総合プラン

放課後子ども総合プランとは、全ての小学生が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブと放課後子ども教室の計画的な整備を進めるため国が策定。袖ヶ浦市は、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体型あるいは連携型の整備を推進します。

＊一体型…同一の小学校内等で両事業を実施し、共働き家庭等の児童を含めた全ての児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加できるもの

＊連携型…放課後児童クラブまたは放課後子ども教室を小学校外で実施するものの、共働き家庭等の児童を含めた全ての児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加できるもの

⑤放課後子ども総合プランの推進方策について

○一体型、又は、連携型の放課後児童クラブ・放課後子ども教室の平成31年度に達成されるべき目標事業量

放課後子ども総合プランに沿って放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的な、又は連携による実施を推進します。

平成31年度 昭和小学校、長浦小学校の2校で一体型の実施

その他の小学校区についてはニーズ調査結果により計画的に推進します。

○放課後子ども教室の平成31年度までの整備計画

平成23年度 昭和小学校区で連携型を実施

平成24年度 長浦小学校区で連携型を実施

平成30年度 全小学校区で放課後子ども教室のニーズ調査実施

昭和小学校区、長浦小学校区で一体型の実施に向け計画的な整備の推進

平成31年度 昭和小学校区、長浦小学校区で一体型の実施

その他の小学校区はニーズ調査結果により一体型、または連携型の計画的な整備の推進

*実施形態に限らず、放課後等に学校の教室等を利用し、希望する児童が参加することができる体験型学習等については、この整備における子ども教室とみなします。

○一体型又は連携型の放課後児童クラブと放課後子ども教室の実施に関する具体的方策

・放課後児童クラブの放課後児童支援員と放課後子ども教室のコーディネーターとが、定期的に情報交換を行い、児童の状況等を共有する。

・すべての子どもが放課後を安全安心に過ごすことのできる環境を整えるため運営委員会を設置する。

○小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ・放課後子ども教室への活用に関する具体的な方策

教育委員会と福祉部局の間で協議し、学校施設の利用を推進します。

○放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実施に係る教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策

同じ学校に通う児童の健やかな成長のため、教育委員会と福祉部局は放課後対策について実施主体にかかわらず、連携して取り組むこととする。

○地域の実情に応じた放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取組

現状、全クラブ（14クラブ）で午後7時まで開設しており、今後も現在の開設時間を維持していく。